

(様式第10)

鳥大医療第16-2号
平成28年

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院
病院長 清水 英

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏 名	国立大学法人 鳥取大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鳥取大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地の1	電話(0859)33-1111
-----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科 2消化器内科 3循環器内科 4腎臓内科 5神経内科 6血液内科	
7内分泌代謝内科 8感染症内科 9アレルギー科 10リウマチ科 11 12	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
1消化器外科	2乳腺内分泌外科	3心臓血管外科
4小児外科	5ペインクリニック外科	
6	7	8
9	10	
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1歯科口腔外科	2	3
4	5	6
7		
歯科の診療体制		
本院は歯科医師を有する特定機能病院である。		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1膠原病内科	2胸部外科	3頭頸部外科	4薬物療法内科	5形成外科	6脳神経小児科
7病理診断科	8神経病理診断科	9リハビリテーション科	10	11	
12	13	14	15	16	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	6床	0床	649床	697床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	337人	73人	390.8人	看護補助者	64人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	20人	2人	21.6人	理学療法士	15人	臨床検査技師	46人
薬 剤 師	49人	0人	49人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助 産 師	42人	1人	42.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	683人	10人	689.6人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	0人	1人	0.5人	栄 養 士	1人	その他の技術員	32人
歯科衛生士	3人	1人	4人	歯科技工士	2人	事務職員	231人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	39人	その他の職員	33人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	32人	眼科専門医	12人
外科専門医	33人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	5人	放射線科専門医	19人
小児科専門医	35人	脳神経外科専門医	7人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	6人	麻酔科専門医	13人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	4人
		合 計	212人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 () 任命年月日 平成 年 月 日

--	--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	567.6人	11.3人	578.9人
1日当たり平均外来患者数	1405.8人	80.2人	1,486.0人
1日当たり平均調剤数	入院：883.7剤、外来：220.7剤		
必要医師数	142人		
必要歯科医師数	5人		
必要薬剤師数	14人		
必要（准）看護師数	340人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	877.9 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	26床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 321 m ² [移動式の場合] 台数 18台		病床数	26床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 28 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	453.2 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、 全自動化学発光酵素免疫測定装置		
細菌検査室	127.5 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動同定感受性検査装置、血液培養装置、 微生物分類同定分析装置		
病理検査室	93.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動免疫染色装置、自動染色装置、バーチャル・ スライド方式による遠隔病理画像診断システム		
病理解剖室	88.0 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	病理解剖台		
研究室	1,417.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	中央実験台、フリーザー、 ドラフトチャンバー等		
講義室	406.0 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	366人
図書室	1,777.0m ²	鉄筋コンクリート	室数	6室	蔵書数	685,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	85.9%	逆紹介率	83.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数	12,118人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,718人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,088人	
	D: 初診の患者の数	17,697人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当ありません。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	38
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	76
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	7
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	3
5	進行性核上性麻痺	17	60	再生不良性貧血	20
6	パーキンソン病	208	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	39
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	2
11	重症筋無力症	84	66	IgA腎症	19
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	7
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	45	68	黄色靱帯骨化症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靱帯骨化症	61
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	14
17	多系統萎縮症	30	72	下垂体性ADH分泌異常症	10
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	51	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	14
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	2	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
22	もやもや病	22	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	21
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	43
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	94
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	25
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	7
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5
34	神経線維腫症	28	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	15	90	網膜色素変性症	11
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	43
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	26	95	自己免疫性肝炎	15
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	30
42	結節性多発動脈炎	12	97	潰瘍性大腸炎	81
43	顕微鏡的多発血管炎	22	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	151	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	59	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	85	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	27	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	22	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	5	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	1	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2
113	筋ジストロフィー	5	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマツセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	7	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	5
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算2
・特定機能病院入院基本料(一般・結核7対1、精神15対1)	・退院支援加算1、3
・臨床研修病院入院診療加算(医科:基幹型、歯科:管理型)	・精神疾患診療体制加算
・救急医療管理加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・超急性期脳卒中加算	・救命救急入院料3、4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料4
・診療録管理体制加算1	・総合周産期特定集中治療室管理料1、2
・医師事務作業補助体制加算1(75対1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算1	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1、2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・総合評価加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・検体検査管理加算 I、IV
・高度難聴指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・糖尿病合併症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・植込型心電図検査
・がん患者指導管理料1、2、3	・胎児心エコー法
・外来緩和ケア管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病透析予防指導管理料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・院内トリアージ実施料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来放射線照射診療料	・光トポグラフィー
・ニコチン依存症管理料	・神経学的検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料2	・補聴器適合検査
・がん治療連携計画策定料	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・認知症専門診断管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・画像診断管理加算1、2
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料1、2、歯科	・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・歯科治療総合医療管理料(I)及び(II)	・CT撮影及びMRI撮影
・在宅患者訪問看護・指導料	・冠動脈CT撮影加算
・同一建物居住者訪問看護・指導料	・外傷全身CT加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・乳房MRI撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝学的検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・無菌製剤処理料

施設基準の種類	施設基準の種類
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的冠動脈形成術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・精神科作業療法	・経皮的冠動脈ステント留置術
・認知療法・認知行動療法1	・経カテーテル大動脈弁置換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療保護入院等診療料	・ペースメーカー移植術及び交換術
・硬膜外自家血注入	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・両心室ペースメーカー移植術及び交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・植込型徐細動器移植術、植込型徐細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・磁気による膀胱等刺激法	・両室ペーシング機能付き植込型徐細動器移植術及び交換術
・一酸化窒素吸入療法(新生児の低酸素呼吸不全に対して実施するものに限る。)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・CAD/CAM冠	・補助人工心臓
・歯科技工加算1及び2	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・経皮的大動脈遮断術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・ダメージコントロール手術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・脊髄刺激装置植込術及び交換術	・体外衝撃波胆石破碎術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・腹腔鏡下肝切除術
・羊膜移植術	・生体部分肝移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・体外衝撃波膵石破碎術
・網膜再建術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・上顎骨形成術(骨移動を伴うものに限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴うものに限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体腎移植術	・歯科矯正診断料
・膀胱水圧拡張術	・顎口腔機能診断料
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・輸血管管理料Ⅰ、輸血適正使用加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	・
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・
・病理診断管理加算2	・
・口腔病理診断管理加算2	・
・クラウンブリッジ維持管理料	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
下半身陽圧負荷装置を用いた歩行運動が下肢痛を有する高齢者の運動機能に及ぼす影響	曾田 武史	リハビリテーション部	420,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
呼吸筋トレーニングが超音波画像により測定した横隔膜筋圧に及ぼす影響	曾田 武史	リハビリテーション部	400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
黄砂および越境大気汚染の児童健康に対する短期影響と屋外活動リスクの評価	渡部 仁成	第三内科診療科群	100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
分子標的薬のPK解析とメタボロミクスを駆使した高精度治療戦略法の構築	島田 美樹	薬剤部	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
拡張不全に対する新たな治療の開発 - ノックアウトマウスを用いた検討 -	荻野 和秀	検査部	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
拡張不全患者におけるカルニチン慢性投与が心機能・骨格筋機能に及ぼす効果の検討	山本 一博	第一内科診療科群	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
複数神経栄養因子による生存シグナル増強 - 間葉系幹細胞と人工染色体の利用 -	渡辺 保裕	神経内科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
インクレチン経路からみた小児メタボリック症候群への新たな介入方法の開発	花木 啓一	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
骨粗鬆症性骨折の危険因子と予防に関する研究	萩野 浩	リハビリテーション部	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
新規受容体SNRを介する排尿機能調節機構の解明	本田 正史	泌尿器科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
卵巣明細胞腺癌におけるPI3K阻害薬の至適併用療法選択と感受性予測マーカー探索	大石 徹郎	女性診療科群	900,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
網羅的分子解析によるウイルス性角膜炎の病態解明	井上 幸次	眼科	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
拡張性心不全患者における呼吸筋リハビリテーションが運動耐容能に及ぼす影響	衣笠 良治	第一内科診療科群	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
包括的認知症検診プログラムの開発と有効性の検討	竹田 伸也	臨床心理	600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
知的障害児入所施設における被虐待児の評価と効果的な支援方法の検討	井上 雅彦	臨床心理	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
治療フィデリティと目標設定は認知矯正療法の効果に影響を与えるか	最上 多美子	臨床心理	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
メルケル細胞癌のMCPyV陽性群と陰性群の発癌機序比較に基づく治療法探索	林 一彦	病理部	1,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金

小計17件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肝細胞癌が早期診断されない原因の解明	岡野 淳一	第二内科診療科群	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
世界標準の地域連携システムを用いた標準化の課題と対策の調査検討	近藤 博史	医療情報部	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
認知症・パーキンソン症候群への進行に関する縦断的地域疫学研究	中島 健二	脳神経内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
非アルコール性脂肪肝炎進展に関与するmicroRNAの同定とバイオマーカーの開発	孝田 雅彦	第二内科診療科群	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
臨床実用を目指した癌幹細胞標的光線力学的療法の基礎研究	磯本 一	第二内科診療科群	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
悪性胸膜中皮腫のペメトレキセド耐性を克服する新しい治療法の開発	清水 英治	第三内科診療科群	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
成長障害の病態解明—新たなアプローチによるGH-IGFs系シグナル異常の解明	鞆嶋 有紀	小児科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
微細構造を基盤とした蛋白尿発症機序の解明:低真空走査型電子顕微鏡を用いた解析	岡田 晋一	小児科	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
癌性胸腹水癌細胞パルス樹状細胞ワクチンのがん幹細胞に対する治療効果増強の研究	辻谷 俊一	がんセンター	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
子宮内膜炎合併不妊に対するNFκBを標的とする新規薬物療法の開発	谷口 文紀	女性診療科群	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
可溶性ULPB2制御による新しい敗血症治療法の開発	千酌 浩樹	感染制御部	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ビスフォスフォネート(BP)の顎骨の感染メカニズムの解明	領家 和男	歯科口腔外科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
BRONJにおける骨芽細胞の役割の解明	本城 正	歯科口腔外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
難治てんかん患者の地域包括的支援ネットワークの確立と展開	吉岡 伸一	精神科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
脳梗塞発症後に生じるフレイル促進因子の探索的研究	古和 久典	神経内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ドパミン存在下におけるαシヌクレインの酸化修飾と細胞内安定性,細胞間伝播	中曾 一裕	神経内科	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
認知矯正療法が統合失調症の報酬系に与える効果の脳機能画像研究	兼子 幸	精神科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
レビー小体型認知症の早期診断法の確立:病理学および画像診断学的検討に基づく研究	小川 敏英	放射線診療科群	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ゲノムDNAメチル化修飾を指標とする子宮内膜炎の診断分子マーカーの探索	伊澤 正郎	女性診療科群	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
NFκB活性化分子を標的とし	百田 省	女性診療科群	1,700,000	補	日本学術振興会

小計19件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新たな子宮内膜症治療	赤田 昌	女性診療科群	1,100,000	委 科学研究費助成事業助成金
頭痛に関する効果的なシミュレーション教育プログラムの構築とその有用性の検証	中野 俊也	脳神経内科	300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
加齢黄斑変性の戦略的な疾患特異遺伝子探索と治療応用	馬場 高志	眼科	300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
角膜内皮と線維柱帯は、免疫ネットワーク制御をうけるのか：戦略的病態解明と治療開発	宮崎 大	眼科	500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
生態学的アプローチからみた地域医療システムの構築	谷口 晋一	第一内科診療科群	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
医療用漢方薬を用いた前立腺がんIMRTによる有害事象軽減及び線量増加の研究	田原 誉敏	放射線診療科群	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ストレスシグナルは角膜内皮の老化と炎症を制御しえるのか	石倉 涼子	眼科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
時計遺伝子の不均衡と病態との関連性と介入の可能性についての検討	船木 一美	麻酔診療科群	900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
人工染色体ベクターを用いた巨大遺伝子のin vivo導入法の開発	柏木 明子	放射線診療科群	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
EAATを介する中枢性排尿調節メカニズムの包括的解明	引田 克弥	泌尿器科	900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
SEREX法を応用したハイリスク甲状腺腫瘍の血清学的スクリーニング法の開発	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
EGFR核内移行阻害によるDNA損傷修復抑制を標的とした新たな集学的癌治療の確立	牧野 晴彦	第三内科診療科群	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
悪性脳腫瘍に対するがん免疫療法の治療効果判定：PETによる研究	石橋 愛	放射線診療科群	500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
オピオイドが腫瘍増殖および生命予後に与える影響の解析	大槻 明広	手術部	600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
新規内視鏡を用いた経尿道的膀胱手術新規技術の確立	森實 修一	泌尿器科	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
グルコシルセラミドの腫瘍増殖抑制効果	矢間 敬章	頭頸部診療科群	500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ヒト生体における耳小骨の非侵襲的な振動測定	國本 泰臣	頭頸部診療科群	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
生体内における超音波せん断波(shear wave)の速度を決定する因子の解明	福原 隆宏	頭頸部診療科群	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
皮下脂肪組織由来幹細胞の作用メカニズムに基づいた新しい乳房再生技術の開発	陶山 淑子	形成外科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
2型糖尿病における新規インスリン抵抗性指標の開発	大倉 毅	第一内科診療科群	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金

小計19件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
心拍変動解析は補助人工心臓離脱を判定し得るか	岸本 諭	心臓血管外科	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ストレスが脳内炎症を介してうつ病を誘発する機序の解明と新たな治療法の開発	岩田 正明	精神科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
高悪性度神経膠腫のpseudo-response早期検出のためのMRIによる検討	三好 史倫	放射線診療科	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
R2*マップによる急性期脳梗塞における閉塞血管の画像評価	篠原 祐樹	放射線診療科	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
浸潤性肺腺癌の腫瘍内多様性とリンパ節転移機構の解明	春木 朋広	胸部外科診療科群	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
microRNAをtargetとした腎癌の診断マーカーと薬剤感受性に関する研究	岩本 秀人	泌尿器科	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
眼表面の細菌叢の静的状態および動的反応からさぐる新たな眼感染症の治療法	佐々木 慎一	眼科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
骨吸収抑制薬剤が線維芽細胞増殖因子に与える影響と顎骨壊死の治療方法	中林 基	歯科口腔外科	2,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
口腔がんにおけるTERT抑制遺伝子の同定とその機能解析	西尾 幸与	歯科口腔外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
脳性麻痺児の社会性の発達促進と養育者の育児負担軽減のための実証研究	奥村 さとみ	歯科口腔外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ゴーシェ病に対するpH感受性新規シャペロン化合物の開発	成田 綾	脳神経小児科	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
ヒトES細胞由来心臓ペースメーカー細胞を用いた自動能生成メカニズムの解明	森川 久未	次世代高度医療推進センター	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業助成金
神経変性疾患領域における基盤的調査研究	中島 健二	神経内科	18,866,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
医療・研究・福祉の連携による行動障害のある児・者への支援方法に関する研究	井上 雅彦	臨床心理	2,407,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
CBRNE事態における公衆衛生対応に関する研究	本間 正人	救急科	2,565,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
新刃先形状をもつ高難度手術を可能にする新規国産医療用ドリルの開発	植木 賢	次世代高度医療推進センター	17,692,308	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
すべての人類に発症する老視を克服する調節眼内レンズの開発	鮑浦 淳介	次世代高度医療推進センター	2,400,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	前垣 義弘	脳神経小児科	2,000,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費

小計19件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	加藤 信介	神経病理診断科	846,154	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
咽喉頭癌に対する経口的ロボット支援手術の安全性・有効性に関する多施設臨床試験	藤原 和則	頭頸部診療科群	7,615,385	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究	村上 潤	小児科	800,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
がん細胞が生成する尿中蛋白質断片の検出を応用した肺腺癌早期診断システム樹立に関する研究	清水 英治	第三内科診療科群	1,000,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
JaCALS研究リソースの維持・拡大・変性班との連携	中島 健二	神経内科	1,000,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症における原因究明の基盤整備に関する研究	中島 健二	神経内科	615,385	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
ドラッグリポジショニングによる神経線維腫症1型の進行阻止役の開発	吉田 雄一	皮膚科	700,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
移植データを活用したEB-LPDの後方視的検討	上山 潤一	小児科	230,770	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性核上性麻痺及び類縁疾患を対象とした多施設共同コホート研究によるバイオマーカー開発と自然歴の解明	中島 健二	神経内科	2,100,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究の創設	中島 健二	神経内科	5,384,616	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
メディカル・ゲノムセンター等におけるゲノム医療実施体制の構築と人材育成に関する研究	難波 栄二	遺伝子診療科	2,165,385	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
慢性炎症性疾患である子宮内膜症とその悪性化におけるDNAメチル化異常に関する検討	原田 省	女性診療科群	1,923,077	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
慢性ウイルス性肝炎の病態把握(重症度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測)のための非侵襲的病態診断アルゴリズムの確立	孝田 雅彦	第二内科診療科群	20,000	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性及び安全性に関する研究	大石 徹郎	女性診療科群	749,292	補 委	日本医療研究開発機構 受託研究費
バイオバンクに提供された検体のオミックス解析情報のデータベース化とインフォマティクスによる疾患関連分子の同定	浦上 克哉	神経内科	1,000,000	補 委	国立長寿医療研究センター 受託研究費
大腿骨近位部骨折の健側大腿骨補強手術の開発	萩野 浩	リハビリテーション部	2,000,000	補 委	国立長寿医療研究センター 受託研究費
本邦におけるHRpEFの実態に関する多施設共同調査研究	山本 一博	第一内科診療科群	250,000	補 委	国立循環器病センター 受託研究費
血中・体液中の遊離核酸によるがんの分子診断法の基盤整備・試料の採取(特にセクレチン負荷)と臨床情報の収集	松本 和也	第二内科診療科群	700,000	補 委	国立がん研究センター 受託研究費
黄砂、PM2.5の組成別毒性評価に基づく大気モニタリングと感受性者検査システムの構築	渡部 仁成	第三内科診療科群	34,313,002	補 委	環境省 受託研究費

小計19件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
遅発型ポンペ病患者ハイリスクスクリーニング調査研究	玉崎 章子	脳神経小児科	83,077	補 委	国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
筋ジストロフィーの臨床試験におけるアウトカムメジャー研究	大野 光洋	脳神経小児科	494,764	補 委	国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
大腸検査の苦痛を解決するための触覚付き先端駆動式全周内視鏡の開発	植木 賢	次世代高度医療推進センター	2,237,709	補 委	鳥取県産業振興機構 受託研究費
医療・介護に用いる多目的頬粘膜保護装置の上市を見据えた研究開発	領家 和男	歯科口腔外科	308,000	補 委	科学技術振興機構 受託研究費
再生医療技術の基盤研究を応用した内在性幹細胞制御による肝疾患の革新的治療戦略	汐田 剛史	第二内科診療科群	28,197,000	補 委	科学技術振興機構 受託研究費
がん診療連携拠点病院機能強化事業	病院長 清水 英治		16,875,000	補 委	厚生労働省
感染症対策特別促進事業	病院長 清水 英治		13,680,000	補 委	厚生労働省
鳥取県感染症指定医療機関運営費補助金	病院長 清水 英治		2,871,995	補 委	鳥取県
院内がん登録支援事業	病院長 清水 英治		3,456,000	補 委	鳥取県
感染症医療提供体制強化事業	病院長 清水 英治		8,760,000	補 委	鳥取県
在宅医療連携拠点事業	病院長 清水 英治		5,386,000	補 委	鳥取県
地域医療向上研修会開催支援事業	病院長 清水 英治		9,713,000	補 委	鳥取県
認定看護師養成研修受講補助事業	病院長 清水 英治		1,500,000	補 委	鳥取県
ドクターカー運営事業	病院長 清水 英治		2,556,000	補 委	鳥取県
鳥取県新人看護職員研修事業費	病院長 清水 英治		1,825,000	補 委	鳥取県
在宅医療推進のための看護師育成支援事業	病院長 清水 英治		29,927,000	補 委	鳥取県
医療情報ネットワーク整備事業	病院長 清水 英治		183,902,000	補 委	鳥取県
周産期医療に関わる専門的スタッフの養成事業	病院長 清水 英治		2,540,000	補 委	鳥取県
島根県医療介護連携ITシステム構築支援事業補助金	病院長 清水 英治		1,537,000	補 委	島根県
鳥取県防災訓練等参加支援事業	病院長		383,000	補	鳥取県

小計19件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
補助金	清水 英治		500,000	委	鳥取県
鳥取県手話学習会開催事業費補助金	病院長 清水 英治		46,800	補 委	鳥取県
鳥取県専門医認定支援事業補助金	病院長 清水 英治		196,000	補 委	鳥取県
鳥取県がん専門医資格取得支援負担金	病院長 清水 英治		986,000	補 委	鳥取県
鳥取県がん専門医療従事者育成支援負担金	病院長 清水 英治		23,000	補 委	鳥取県
実習指導者養成支援事業	病院長 清水 英治		100,000	補 委	鳥取県
DMAT養成研修にかかる旅費補助事業	病院長 清水 英治		300,000	補 委	鳥取県
認定看護管理者養成研修受講補助事業	病院長 清水 英治		460,000	補 委	鳥取県
認定看護師養成研修事業	病院長 清水 英治		294,000	補 委	鳥取県
救急勤務医支援事業	病院長 清水 英治		944,000	補 委	鳥取県

合計122件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Shinji Otani	1内科	Assessment of the Effects of Severe Winter Disasters (Dzud) on Public Health in Mongolia on the Basis of Loss of Livestock.	Disaster medicine and public health preparedness
2	Ayumi Kato	画像診断治療学	Usefulness of R2* maps generated by iterative decomposition of water and fat with echo asymmetry and least-squares estimation quantitation sequence for cerebral artery dissection.	Neuroradiology
3	Keita Kuya	画像診断治療学	Correlation between neuromelanin-sensitive MR imaging and (123)I-FP-CIT SPECT in patients with parkinsonism.	Neuroradiology
4	Naoko Mukuda	画像診断治療学	Apparent diffusion coefficient (ADC) measurement in ovarian tumor: Effect of region-of-interest methods on ADC values and diagnostic ability.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
5	Naoko Mukuda	画像診断治療学	Reply to the letter to the editor.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
6	Shinya Fujii	画像診断治療学	MR imaging of locally advanced low rectal cancer: Relationships between imaging findings and the pathological tumor regression grade.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
7	Shinya Fujii	画像診断治療学	Subendometrial enhancement and peritumoral enhancement for assessing endometrial cancer on dynamic contrast enhanced MR imaging.	European journal of radiology
8	Takatoshi Tahara	画像診断治療学	Fluorodeoxyglucose Uptake on Positron Emission Tomography Is a Useful Predictor of Long-Term Pain Control After Palliative Radiation Therapy in Patients With Painful Bone Metastases: Results of a Single-	International journal of radiation oncology, biology, physics
9	Takeru Fukunaga	画像診断治療学	Accuracy of semiquantitative dynamic contrast-enhanced MRI for differentiating type II from type I endometrial carcinoma.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
10	Yasutoshi Ohta	画像診断治療学	The evaluation of cardiac tamponade risk in patients with pericardial effusion detected by non-gated chest CT.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987)
11	Yuki Shinohara	画像診断治療学	Assessment of carotid plaque composition using fast-kV switching dual-energy CT with gemstone detector: comparison with extracorporeal and virtual histology-intravascular ultrasound.	Neuroradiology

小計11

12	Kenji Oyama	がんセンター	Rapid and early α -fetoprotein and des- γ -carboxy prothrombin responses to initial arterial infusion chemotherapy predict treatment outcomes of advanced hepatocellular carcinoma.	Molecular and clinical oncology
13	Kanae Nosaka	器官病理学	Cytoplasmic Maspin Expression Correlates with Poor Prognosis of Patients with Adenocarcinoma of the Uterine Cervix.	Yonago acta medica
14	Karen Matsumoto	器官病理学	Tumor-to-tumor metastases in Cowden's disease: an autopsy case report and review of the literature.	Diagnostic pathology
15	Tatsushi Shiomi	器官病理学	Extramammary Paget's disease: evaluation of the adnexal status of 53 cases.	Polish journal of pathology : official journal of the Polish Society of Pathologists
16	Yuki Matsuoka	器官病理学	Cytoplasmic expression of maspin predicts unfavourable prognosis in patients with squamous cell carcinoma of the lung.	Histopathology
17	Yuzo Takagi	器官病理学	Cytoplasmic maspin expression is a predictor of poor prognosis in patients with lung adenocarcinoma measuring <3 cm.	Histopathology
18	Shintaro Sawada	機能病態内科学	Preventive Effect of Geraniol on Diethylnitrosamine-Induced Hepatocarcinogenesis in Rats.	Yonago acta medica
19	Soichiro Kawata	機能病態内科学	AID, p53 and MLH1 expression in early gastric neoplasms and the correlation with the background mucosa.	Oncology letters
20	Takaaki Sugihara	機能病態内科学	A report of three cases of exophytic gastrointestinal stromal tumor detected by transabdominal ultrasound.	Journal of medical ultrasonics (2001)
21	Takaaki Sugihara	機能病態内科学	Contrast-enhanced sonography with Sonazoid as a new diagnostic tool for splenic hamartoma: a single case report.	Journal of medical ultrasonics (2001)
22	Takumi Onoyama	機能病態内科学	Therapeutic effects of the dipeptidyl peptidase-IV inhibitor, sitagliptin, on non-alcoholic steatohepatitis in FLS-ob/ob male mice.	Molecular medicine reports
23	Tomoaki Takata	機能病態内科学	Left Renal Cortical Thickness Measured by Ultrasound Can Predict Early Progression of Chronic Kidney Disease.	Nephron
24	Tomoaki Takata	機能病態内科学	Influence of Olmesartan on Sirtuin 1 mRNA Expression in 5/6 Nephrectomized Spontaneously Hypertensive Rats.	Yonago acta medica

25	Tomoaki Takata	機能病態内科学	Renal shear wave velocity by acoustic radiation force impulse did not reflect advanced renal impairment.	Nephrology (Carlton, Vic.)
26	Masato Homma	救急・災害医学	Development of the Japanese National Disaster Medical System and Experiences during the Great East Japan Earthquake.	Yonago acta medica
27	Tomohiro Haruki	胸部外科学	Distribution and Prevalence of Locoregional Recurrence after Video-Assisted Thoracoscopic Surgery for Primary Lung Cancer.	The Thoracic and cardiovascular surgeon
28	Kazuhito Tohashi	口腔顎顔面病態外科学	Associations between Systemic Markers of Bone Turnover or Bone Mineral Density and Anti-Resorptive Agent-Related Osteonecrosis of the Jaw in Patients Treated with Anti-Resorptive Agents.	Yonago acta medica
29	Sachiyo Nishio	口腔顎顔面病態外科学	Repression of hTERT transcription by the introduction of chromosome 3 into human oral squamous cell carcinoma.	Biochemical and biophysical research communications
30	Shunsuke Tanio	口腔顎顔面病態外科学	Low prevalence of Merkel cell polyomavirus with low viral loads in oral and maxillofacial tumours or tumour-like lesions from immunocompetent patients: Absence of Merkel cell polyomavirus-	Molecular and clinical oncology
31	Yu Yoshida	口腔顎顔面病態外科学	A novel PAX3 mutation in a Japanese boy with Waardenburg syndrome type 1.	Human genome variation
32	Jun Kurai	呼吸器内科	Asthma and Wheeze Prevalence among Nursing Professionals in Western Japan: A Cross-Sectional Study.	International journal of environmental research and public health
33	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Prevalence of allergic rhinitis based on the SACRA questionnaire among Japanese nursing professionals with asthma.	The journal of medical investigation : JMI
34	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Association of Sand Dust Particles with Pulmonary Function and Respiratory Symptoms in Adult Patients with Asthma in Western Japan Using Light Detection and Ranging: A Panel Study.	International journal of environmental research and public health
35	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Variation in the Effect of Particulate Matter on Pulmonary Function in Schoolchildren in Western Japan and Its Relation with Interleukin-8.	International journal of environmental research and public health
36	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Effect of Asian dust on pulmonary function in adult asthma patients in western Japan: A panel study.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of
37	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Differences in the effects of Asian dust on pulmonary function between adult patients with asthma and those with asthma-chronic obstructive pulmonary disease overlap syndrome.	International journal of chronic obstructive pulmonary disease

38	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Association between pulmonary function and daily levels of sand dust particles assessed by light detection and ranging in schoolchildren in western Japan: A panel study.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of
39	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Decreased pulmonary function in school children in Western Japan after exposures to Asian desert dusts and its association with interleukin-8.	BioMed research international
40	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Prevalence of asthma and wheezes among snow crab workers in western Japan: a cross-sectional study.	The journal of medical investigation : JMI
41	Masanari Watanabe	呼吸器内科	Difference in Pro-Inflammatory Cytokine Responses Induced in THP1 Cells by Particulate Matter Collected on Days with and without ASIAN Dust Storms.	International journal of environmental research and public health
42	Tomoko Haruki	視覚病態学	Indoleamine 2,3-dioxygenase 1 in corneal endothelial cells limits herpes simplex virus type 1-induced acquired immune response.	The British journal of ophthalmology
43	Hiroaki Yazama	耳鼻咽喉科	Dietary glucosylceramides suppress tumor growth in a mouse xenograft model of head and neck squamous cell carcinoma by the inhibition of angiogenesis through an increase in ceramide.	International journal of clinical oncology
44	Kazunori Fujiwara	耳鼻咽喉科	Preliminary study of transoral robotic surgery for pharyngeal cancer in Japan.	Journal of robotic surgery
45	Kazunori Fujiwara	耳鼻咽喉科	Load evaluation of the da Vinci surgical system for transoral robotic surgery.	Journal of robotic surgery
46	Kazunori Fujiwara	耳鼻咽喉科	Mechanical evaluation of newly developed mouthpiece using polyethylene terephthalate glycol for transoral robotic surgery.	Journal of robotic surgery
47	Takahiro Fukuhara	耳鼻咽喉科	Utility of Shear Wave Elastography for Diagnosing Chronic Autoimmune Thyroiditis.	Journal of thyroid research
48	Takahiro Fukuhara	耳鼻咽喉科	Correlation between quantitative shear wave elastography and pathologic structures of thyroid lesions.	Ultrasound in medicine & biology
49	Takahiro Fukuhara	耳鼻咽喉科	Impact of Fibrotic Tissue on Shear Wave Velocity in Thyroid: An Ex Vivo Study with Fresh Thyroid Specimens.	BioMed research international
50	Takahiro Fukuhara	耳鼻咽喉科	Post-laryngectomy voice rehabilitation with a voice prosthesis in a young girl with advanced thyroid cancer.	Auris, nasus, larynx

51	Yasuomi Kunimoto	耳鼻咽喉科	Staged resection for vestibular schwannoma.	Acta otolaryngologica
52	Masanobu Fujimoto	周産期・小児医学	Heterozygous nonsense mutations near the C-terminal region of IGF1R in two patients with small-for-gestational-age-related short stature.	Clinical endocrinology
53	Naomi Kuranobu	周産期・小児医学	Cholesterol ester storage disease with a novel LIPA mutation (L264P) that presented massive hepatomegaly: A case report.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology
54	Akihiro Okamura	循環器内科	Ultra-Rapid and Massive Thrombus Formation in Cardiac Chambers.	Internal medicine (Tokyo, Japan)
55	Kazuhiro Yamamoto	循環器内科	β -Blocker therapy in heart failure with preserved ejection fraction: Importance of dose and duration.	Journal of cardiology
56	Kazuhiro Yamamoto	循環器内科	Risk Factors for Progression of Degenerative Aortic Valve Disease in the Japanese- The Japanese Aortic Stenosis Study (JASS) Prospective Analysis.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society
57	Kazuhiro Yamamoto	循環器内科	"The Third Man" in Heart Failure—Heart Failure With Reduce Ejection Fraction Evolved From Heart Failure With Preserved Ejection Fraction.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society
58	Kensaku Yamada	循環器内科	Inspiratory Muscle Weakness is Associated With Exercise Intolerance in Patients With Heart Failure With Preserved Ejection Fraction: A Preliminary Study.	Journal of cardiac failure
59	Masahiko Kato	循環器内科	Clinical characteristics of elderly patients with aortic stenosis.	Journal of echocardiography
60	Takehito Kondo	循環器内科	Impact of postprocedural antiarrhythmic drug therapy with bepridil on maintaining sinus rhythm after catheter ablation for persistent atrial fibrillation.	Journal of cardiology
61	Kazuya Matsumoto	消化器内科	Clinical Impact of the KL-6 Concentration of Pancreatic Juice for Diagnosing Pancreatic Masses.	BioMed research international
62	Kazuya Matsumoto	消化器内科	Development of a device for detecting target specimens from EUS-guided FNA samples.	Endoscopy international open
63	Akiko Kudoh	女性診療科	Human papillomavirus type-specific persistence and reappearance after successful conization in patients with cervical intraepithelial neoplasia.	International journal of clinical oncology

64	Fuminori Taniguchi	女性診療科	Effects of low dose oral contraceptive pill containing drospirenone/ethinylestradiol in patients with endometrioma.	European journal of obstetrics, gynecology, and reproductive biology
65	Fuminori Taniguchi	女性診療科	Primary Umbilical Endometriosis: Unusual and Rare Clinical Presentation.	Case reports in obstetrics and gynecology
66	Hiroaki Itamochi	女性診療科	Fibroblast growth factor receptor 2 is associated with poor overall survival in clear cell carcinoma of the ovary and may be a novel therapeutic approach.	International journal of gynecological cancer : official journal of the
67	Hiroaki Itamochi	女性診療科	Loss of ARID1A expression is associated with poor prognosis in patients with stage I/II clear cell carcinoma of the ovary.	International journal of clinical oncology
68	Imari Deura	女性診療科	Incidence and risk factors for lower limb lymphedema after gynecologic cancer surgery with initiation of periodic complex decongestive physiotherapy.	International journal of clinical oncology
69	Kazuo Maeda	女性診療科	Electroencephalographic studies of eclampsia and pre-eclampsia.	The journal of obstetrics and gynaecology research
70	Kazuo Maeda	女性診療科	Invention of ultrasonic Doppler fetal actocardiograph and continuous recording of fetal movements.	The journal of obstetrics and gynaecology research
71	Masao Izawa	女性診療科	Molecular Background of Estrogen Receptor Gene Expression in Endometriotic Cells.	Reproductive sciences (Thousand Oaks, Calif.)
72	Nao Oumi	女性診療科	Establishment and mutation analysis of a novel malignant peritoneal mesothelioma cell line, TU-MM-1, using whole genome sequencing.	Human cell
73	Seiya Sato	女性診療科	Feasibility Study of Adjuvant Chemotherapy Using Taxane Plus Carboplatin for High-Risk Patients With Uterine Cervical Non-Squamous Cell Carcinoma After Radical Hysterectomy.	International journal of gynecological cancer : official journal of the
74	Akihisa Yao	腎泌尿器科	High neutrophil-to-lymphocyte ratio predicts poor clinical outcome in patients with castration-resistant prostate cancer treated with docetaxel chemotherapy.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological
75	Atsushi Takenaka	腎泌尿器科	Current Status of Robot-Assisted Radical Cystectomy: What is the Real Benefit?	Yonago acta medica
76	Bunya Kawamoto	腎泌尿器科	Vesicovascular reflexes in the spontaneously hypertensive rat.	Life sciences

77	Bunya Kawamoto	腎泌尿器科	Angiotensin II centrally induces frequent detrusor contractility of the bladder by acting on brain angiotensin II type 1 receptors in rats.	Scientific reports
78	Kat Suya Hikita	腎泌尿器科	Comparison of the overactive bladder symptom score and the overactive bladder symptom score derived from the bladder diaries.	Neurourology and urodynamics
79	Kuniyasu Muraoka	腎泌尿器科	Site-dependent and interindividual variations in Denonvilliers' fascia: a histological study using donated elderly male cadavers.	BMC urology
80	Masashi Honda	腎泌尿器科	Spinal glycine transporter-1 inhibition influences the micturition reflex in urethane-anesthetized rats.	International urology and nephrology
81	P Tsounapi	腎泌尿器科	Post-fertilization effect of bilateral primary testicular damage induced by unilateral cryptorchidism in the rat model.	Andrology
82	Shuichi Morizane	腎泌尿器科	Risk stratification model, including preoperative serum C-reactive protein and estimated glomerular filtration rate levels, in patients with upper urinary tract urothelial carcinoma undergoing radical	International urology and nephrology
83	T Sejima	腎泌尿器科	Initial evidence demonstrating the association between the vascular status in surgically resected renal parenchymal pathology and sexual function.	International journal of impotence research
84	Takehiro Sejima	腎泌尿器科	The Utility of the Remnant Kidney Volume/Body Surface Area Ratio and Tumor Diameter as Predictors of Postoperative Degree of Renal Functional Decline in Patients With Renal Cell	Urology
85	Takehiro Sejima	腎泌尿器科	Characterization of mild and severe post-radical nephrectomy renal functional deterioration utilizing histopathological evaluation of non-neoplastic nephrectomized renal parenchyma.	International journal of clinical oncology
86	Toshihiko Masago	腎泌尿器科	Estimation of mortality and morbidity risk of radical cystectomy using POSSUM and the Portsmouth predictor equation.	Central European journal of urology
87	Y Tsukutani	整形外科	Epidemiology of fragility fractures in Sakaiminato, Japan: incidence, secular trends, and prognosis.	Osteoporosis international : a journal established as result of cooperation
88	Katsutoshi Yokoyama	精神行動医学	Relationship between hypothalamic-pituitary-adrenal axis dysregulation and insulin resistance in elderly patients with depression.	Psychiatry research
89	Mieko Masai	精神行動医学	Residual Symptoms Were Differentially Associated with Brain Function in Remitted Patients with Major Depressive Disorders.	Yonago acta medica

90	Shenghong Pu	精神行動医学	The association between cognitive deficits and prefrontal hemodynamic responses during performance of working memory task in patients with schizophrenia.	Schizophrenia research
91	Shenghong Pu	精神行動医学	Self-reported social functioning and prefrontal hemodynamic responses during a cognitive task in schizophrenia.	Psychiatry research
92	Shenghong Pu	精神行動医学	Social cognition and prefrontal hemodynamic responses during a working memory task in schizophrenia.	Scientific reports
93	Shenghong Pu	精神行動医学	Suicidal ideation is associated with reduced prefrontal activation during a verbal fluency task in patients with major depressive disorder.	Journal of affective disorders
94	Shenghong Pu	精神行動医学	Association between Fish Consumption and Prefrontal Function during a Cognitive Task in Male Japanese Workers: A Multi-Channel Near-Infrared Spectroscopy Study.	PloS one
95	Kinya Okamoto	第2内科	A Series of microRNA in the Chromosome 14q32.2 Maternally Imprinted Region Related to Progression of Non-Alcoholic Fatty Liver Disease in a Mouse Model.	PloS one
96	Masahiko Koda	第2内科	Clinical usefulness of the ablative margin assessed by magnetic resonance imaging with Gd-EOB-DTPA for radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma.	Journal of hepatology
97	Akiko Tamasaki	脳神経小児科	Effects of donepezil and serotonin reuptake inhibitor on acute regression during adolescence in Down syndrome.	Brain & development
98	Aya Narita	脳神経小児科	Ambroxol chaperone therapy for neuronopathic Gaucher disease: A pilot study.	Annals of clinical and translational neurology
99	Ayako Itakura	脳神経小児科	Successful treatment of migrating partial seizures in Wolf-Hirschhorn syndrome with bromide.	Brain & development
100	Kentaro Shirai	脳神経小児科	Stimulus-induced reflex epileptic spasms in 5p- syndrome.	Brain & development
101	Koyo Ohno	脳神経小児科	Vessel wall enhancement in the diagnosis and management of primary angiitis of the central nervous system in children.	Brain & development
102	Koyo Ohno	脳神経小児科	Evolution of a symptomatic diffuse developmental venous anomaly with progressive cerebral atrophy in an atypical case of Sturge-Weber syndrome.	Brain & development

103	Masayoshi Oguri	脳神経小児科	Distinguishing Acute Encephalopathy with Biphasic Seizures and Late Reduced Diffusion from Prolonged Febrile Seizures by Acute Phase EEG Spectrum Analysis.	Yonago acta medica
104	Risa Matsuo	脳神経小児科	A Comparative Evaluation of Parent Training for Parents of Adolescents with Developmental Disorders.	Yonago acta medica
105	Ryoko Honda	脳神経小児科	Characterization of ictal slow waves in epileptic spasms.	Epileptic disorders : international epilepsy journal with videotape
106	Tetsuya Okazaki	脳神経小児科	Effect of Intrathecal Baclofen on Delayed-Onset Paroxysmal Dystonia due to Compression Injury Resulting From Congenital and Progressive Spinal Bone Deformities in Chondrodysplasia Punctata.	Pediatric neurology
107	Tohru Okanishi	脳神経小児科	Diffusion-weighted MRI for early diagnosis of neonatal herpes simplex encephalitis.	Brain & development
108	Yoichi Ono	脳神経小児科	Three cases of right frontal megalencephaly: Clinical characteristics and long-term outcome.	Brain & development
109	Yoko Nishimura	脳神経小児科	Ictal central apnea and bradycardia in temporal lobe epilepsy complicated by obstructive sleep apnea syndrome.	Epilepsy & behavior case reports
110	Yoshihiro Maegaki	脳神経小児科	Early predictors of status epilepticus-associated mortality and morbidity in children.	Brain & development
111	H Takigawa	脳神経内科	No associations between five polymorphisms in COMT gene and migraine.	Acta neurologica Scandinavica
112	Jun Mitsui	脳神経内科	Variants associated with Gaucher disease in multiple system atrophy.	Annals of clinical and translational neurology
113	Kenji Wada-Isoe	脳神経内科学	Longitudinal course of mild parkinsonian signs in elderly people: A population-based study in Japan.	Journal of the neurological sciences
114	S Nakashita	脳神経内科学	Clinical assessment and prevalence of parkinsonism in Japanese elderly people.	Acta neurologica Scandinavica
115	Shinya Kawase	脳神経内科学	Plasma Brain Natriuretic Peptide is a Marker of Prognostic Functional Outcome in Non-Cardioembolic Infarction.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases : the official journal of

116	Shinya Kawase	脳神経内科学	Association between body mass index and outcome in Japanese ischemic stroke patients.	Geriatrics & gerontology international
117	Tadashi Adachi	脳神経内科学	Anti-myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibodies in a Patient with Recurrent Optic Neuritis Involving the Cerebral White Matter and Brainstem.	Internal medicine (Tokyo, Japan)
118	Tadashi Adachi	脳神経内科学	Autopsy case of spinocerebellar ataxia type 31 with severe dementia at the terminal stage.	Neuropathology : official journal of the Japanese Society of Neuropathology
119	Takashi Nomura	脳神経内科学	Validity of the Japanese version of the REM Sleep Behavior Disorder (RBD) Screening Questionnaire for detecting probable RBD in the general population.	Psychiatry and clinical neurosciences
120	Yasuhiro Watanabe	脳神経内科学	Use of a Human Artificial Chromosome for Delivering Trophic Factors in a Rodent Model of Amyotrophic Lateral Sclerosis.	Molecular therapy. Nucleic acids
121	Yutaka Suto	脳神経内科学	[A case of tuberculous myeloradiculitis with abdominal lymphadenitis presenting with symptoms of radiculomyelopathy].	Rinshō shinkeigaku = Clinical neurology
122	Ayako Ito	皮膚病態学	Pseudocheckerboard pattern: an interesting histopathological finding in mechanic's hands.	Journal of cutaneous pathology
123	Keiko Wakumoto-Nakashima	皮膚病態学	Novel in vivo observations on double acting points of luliconazole on Trichophyton rubrum: an ultrastructural study.	Medical mycology
124	Reiko Tsutsumi	皮膚病態学	Disseminated Mycobacterium chelonae Infection Identified by Repeated Skin Sampling and Molecular Methods in a Patient with Rheumatoid Arthritis.	Acta dermatovenereologica
125	Reiko Tsutsumi	皮膚病態学	Drug-induced hypersensitivity syndrome in association with varicella.	Acta dermatovenereologica
126	Shigeto Yanagihara	皮膚病態学	Basal cell carcinoma showing surface hyperkeratosis clinically mimicking seborrheic keratosis.	The Journal of dermatology
127	Shuji Suzuki	皮膚病態学	Squamous cell carcinoma arising on plantar verrucous lesion.	The Journal of dermatology
128	Shuji Suzuki	皮膚病態学	Neurofibromatosis type 1 (NF1) with transient paraplegia after a surgical procedure in the prone position.	European journal of dermatology : EJD

129	Takamichi Ito	皮膚病態学	Linear and Whorled Nevoid Hypermelanosis With Tetralogy of Fallot.	Indian journal of dermatology
130	Yuko Ehara	皮膚病態学	Pigmented Dermatofibrosarcoma Protuberans and Blue Naevi with Similar Dermoscopy: A Case Report.	Acta dermato-venereologica
131	Hiroaki Saito	病態制御外科学	Clinical relevance of the number of interleukin-17-producing CD 8+ T cells in patients with gastric cancer.	Surgery today
132	Hiroaki Saito	病態制御外科学	Tumor infiltration pattern into the surrounding tissue has prognostic significance in advanced gastric cancer.	Virchows Archiv : an international journal of pathology
133	Joji Watanabe	病態制御外科学	TSLP Expression and High Serum TSLP Level Indicate a Poor Prognosis in Gastric Cancer Patients.	Yonago acta medica
134	Joji Watanabe	病態制御外科学	Prognostic indicators based on inflammatory and nutritional factors after pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer.	Surgery today
135	Kozo Miyatani	病態制御外科学	A high number of IgG4-positive cells in gastric cancer tissue is associated with tumor progression and poor prognosis.	Virchows Archiv : an international journal of pathology
136	Masahide Ikeguchi	病態制御外科学	Role of Surgery in the Management for Gastric Cancer with Synchronous Distant Metastases.	Indian journal of surgical oncology
137	Shuichi Takano	病態制御外科学	An increased number of PD-1+ and Tim-3+ CD8+ T cells is involved in immune evasion in gastric cancer.	Surgery today
138	Tomohiro Osaki	病態制御外科学	Usefulness of Preoperative Assessment of Perigastric Vascular Anatomy by Dynamic Computed Tomography for Laparoscopic Gastrectomy.	Yonago acta medica
139	Akira Yamasaki	分子制御内科学	Development and validation of a predictive model of failed stepping-down of inhaled corticosteroids in adult asthmatics.	Patient preference and adherence
140	Tomohiro Sakamoto	分子制御内科学	A novel point-of-care system for high-speed real-time polymerase chain reaction testing for epidermal growth factor receptor mutations in bronchial lavage fluids after transbronchial biopsy in	International journal of oncology
141	Tomoya Harada	分子制御内科学	γ -Tocotrienol reduces human airway smooth muscle cell proliferation and migration.	Pulmonary pharmacology & therapeutics

142	Ichiro Murakami	分子病理学	Acute-phase ITIH4 levels distinguish multi-system from single-system Langerhans cell histiocytosis via plasma peptidomics.	Clinical proteomics
143	Keiko Nagata	分子病理学	Production of thyrotropin receptor antibodies in acute phase of infectious mononucleosis due to Epstein-Barr virus primary infection: a case report of a child.	SpringerPlus
144	Takeshi Iwasaki	分子病理学	Lower expression of CADM1 and higher expression of MAL in Merkel cell carcinomas are associated with Merkel cell polyomavirus infection and better prognosis.	Human pathology
145	Takeshi Iwasaki	分子病理学	Phosphohistone-H3 (PHH3) is prognostic relevant in Merkel cell carcinomas but Merkel cell polyomavirus is a more powerful prognostic factor than AJCC clinical stage, PHH3, Ki-67 or mitotic	Pathology international
146	Takeshi Iwasaki	分子病理学	Comment on 'Cytokeratin 20-negative Merkel cell carcinoma is infrequently associated with the Merkel cell polyomavirus'.	Modern pathology : an official journal of the United States and Canadian Academy of
147	Fuminori Miyoshi	放射線治療科	Significance of combined use of MRI and perfusion SPECT for evaluation of multiple system atrophy, cerebellar type.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987)
148	Yoshiaki Oshima	麻酔・集中治療	Phosphoenolpyruvate administration protects ischemia-reperfusion injury in isolated rabbit lungs.	Journal of anesthesia
149	R Endo	麻酔診療科群	Carvedilol Suppresses Apoptosis and Ion Channel Remodelling of HL-1 Cardiac Myocytes Expressing E334K cMyBPC.	Drug research
150	Ryo Endo	麻酔診療科群	Stabilization of Kv1.5 channel protein by the inotropic agent olprinone.	European journal of pharmacology
151	Hiromi Matsumoto	リハビリテーション部	Accelerometry-based gait analysis predicts falls among patients with a recent fracture who are ambulatory: a 1-year prospective study.	International journal of rehabilitation research. Internationale
152	Hiromi Matsumoto	リハビリテーション部	Gait variability analysed using an accelerometer is associated with locomotive syndrome among the general elderly population: The GAINA study.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic
153	Hiroshi Hagino	リハビリテーション部	Vitamin D3 analogs for the treatment of osteoporosis.	Canadian journal of physiology and pharmacology
154	Hiroshi Hagino	リハビリテーション部	[Newly developed drugs to improve bone strength].	Clinical calcium

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	岡本 幹三, 尾崎 米厚	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター	生存率計算からみた鳥取県におけるがんの現状	JACR Monograph
2	大山 賢治, 汐田 剛史	鳥取大学医学部附属病院 がんセンター	【新ウイルス性肝炎学-最新の基礎・臨床研究情報-】C型肝炎 臨床をめざした基礎研究 肝線維化進展度評価とHCV感染	日本臨床
3	尾崎 まり	鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション科	【多職種連携による転倒予防の実践】急性期病院での転倒予防チーム	Journal of Clinical Rehabilitation
4	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院 医療情報部	医療連携におけるベンダー・ニュートラルシステムの必要性と課題	日本遠隔医療学会雑誌
5	藤井 信行, 田窪 千子, 領家 和男	鳥取大学 医学部感覚運動 医学講座口腔顎顔面病態 外科学分野	全身多発転移をきたした副耳下腺由来のリンパ上皮癌の1例	頭頸部癌
6	河本 勝之, 千年 俊一, 二藤 隆春	鳥取大学 医学部感覚運動 医学講座耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野	嚥下手術 私の術式(series 08) 経口的輪状咽頭筋切断術	嚥下医学
7	小山 哲史, 藤原 和典, 福原 隆 宏, 竹内 英二, 北野 博也	鳥取大学 感覚運動医学講 座耳鼻咽喉・頭頸部外科学 分野	唾液腺導管癌に対するトラスツズマブの使用経験	耳鼻咽喉科臨床
8	小山 哲史, 藤原 和典, 福原 隆 宏, 竹内 英二, 北野 博也	鳥取大学 感覚運動医学講 座耳鼻咽喉・頭頸部外科学 分野	頭頸部癌に対するDocetaxel, Cisplatin, 5-FU(TPF)同時併用化学放射線療法の忍容性に関する検討	耳鼻咽喉科臨床
9	竹内 裕美	鳥取大学 医学部感覚運動 医学講座耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野	鼻づまりの客観的評価について	米子医学雑誌
10	竹内 裕美, 中村 陽祐	鳥取大学 医学部感覚運動 医学講座耳鼻咽喉・頭頸部 外科学分野	【耳鼻咽喉科薬物療法2015】耳鼻咽喉科の疾患・症候別薬物療法 肥厚性鼻炎	JOHNS

11	中村 陽祐, 竹内 裕美, 福島 慶, 森實 理恵, 藤井 太平, 北野 博也	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	喘息に伴う慢性副鼻腔炎に対して内視鏡下副鼻腔手術を行い喘息が改善した1例	アレルギーの臨床
12	中村 陽祐, 竹内 裕美, 福島 慶, 森實 理恵, 北野 博也	鳥取大学 感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	精神運動発達障害と頭蓋骨変形を伴う内視鏡下鼻内副鼻腔手術例	耳鼻咽喉科臨床
13	福原 隆宏, 藤原 和典, 三宅 成智, 片岡 英幸, 北野 博也	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	食道内腔からの穿刺による局所麻酔下での新しい二期的ボイスプロステーゼ挿入法	頭頸部癌
14	平 憲吉郎, 福原 隆宏, 片岡 英幸, 北野 博也	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	臨床診断と病理診断の乖離がみられ治療方針の決定に苦慮した喉頭乳頭腫の1例	耳鼻と臨床
15	北野 博也	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	頭頸部癌の新たな治療戦略 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域におけるロボット支援手術	日本耳鼻咽喉科学会会報
16	藤原 和典	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野	【最新手術におけるチーム医療の実際と課題】耳鼻咽喉科頭頸外科における経口的ロボット支援下手術の導入と取り組み Transoral Robotic Surgery(TORS)	日本手術医学会誌
17	足立 孝司	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学	【免疫症候群(第2版)-その他の免疫疾患を含めて-】アレルギー性疾患 好酸球増加症候群 Wells症候群(eosinophilic cellulitis)	日本臨床
18	吉田 雄一	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	レックリングハウゼン病の最新の知見 本邦及び海外における現状と課題	日本レックリングハウゼン病学会雑誌
19	吉田 雄一	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	【家族性腫瘍学-家族性腫瘍の最新研究動向-】症候群 Neurofibromatosis, type 1(von Recklinghausen disease)(神経線維腫症1型)	日本臨床
20	吉田 雄一	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	【見てわかる小児の皮膚疾患】母斑・血管腫・遺伝性皮膚疾患 扁平母斑、神経線維腫症1型、Legius症候群	小児科診療
21	山元 修	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	【病理診断クイックリファレンス】(第18章)皮膚 グロムス腫瘍	病理と臨床
22	山元 修	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	【病理診断クイックリファレンス】(第18章)皮膚 尋常性疣贅	病理と臨床
23	山元 修	鳥取大学 医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野	【病理診断クイックリファレンス】(第18章)皮膚 脂漏性角化症	病理と臨床

24	柳原 茂人	鳥取大学 医学部感覚運動 医学講座皮膚病態学分野	チャート式皮膚疾患の漢方治療(第8回) 帯状疱疹	漢方と診療
25	千酌 浩樹	鳥取大学医学部附属病院 感染制御部	院内感染対策の歴史と展望 手指衛生か ら耐性菌対策へ	米子医学雑誌
26	井上 幸次	鳥取大学 医学部眼科学教 室視覚病態学	【帯状疱疹のトータルケアと合併症対策】 帯状疱疹眼合併症のマネジメント	Derma.
27	本間 正人	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座救急・災害医学 分野	救急疾患への対応 骨盤骨折・四肢切断・ 骨格筋系疾患	救急・集中治療医 学レビュー
28	中村 廣繁	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座胸部外科学分 野	呼吸器外科におけるロボット手術の現況と 上手に行うための工夫	耳鼻咽喉科展望
29	中村 廣繁, 伊達 洋至	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座胸部外科学分 野	肺癌に対するロボット支援手術	日本医事新報
30	眞砂 俊彦, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器科学 分野	【CT術前シミュレーション診断の実際～3次 元画像診断の現状】泌尿器科手術におけ る3D-CTイメージングシステムの有用性に ついて	映像情報Medical
31	岩本 秀人, 眞砂 俊彦, 森實 修 一, 本田 正史, 瀬島 健裕, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学 分野	【ロボット支援膀胱全摘除術の導入と手術 手技】ロボット支援膀胱全摘除術の導入	Japanese Journal of Endourology
32	弓岡 徹也, 森實 修一, 本田 正 史, 瀬島 健裕, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学 分野	【最新の前立腺がん診療のすべて】前立 腺がんの治療 前立腺がんの外科治療	臨牀と研究
33	瀬島 健裕, 岩本 秀人, 眞砂 俊 彦, 森實 修一, 八尾 昭久, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学 分野	泌尿器がんの最新治療 ロボット支援膀胱 全摘除術(RARC)の現状と問題点	西日本泌尿器科
34	瀬島 健裕, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学 分野	【ロボット時代の泌尿器科手術(2)-新たな術 式への挑戦】膀胱癌に対するロボット支援 膀胱全摘除術 膀胱全摘除術	臨床泌尿器科
35	村岡 邦康	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学 分野	【夜間頻尿を診る-これを読めば解決!】 評 価方法 夜間頻尿の評価方法	臨床泌尿器科
36	村岡 邦康, 森實 修一, 本田 正 史, 瀬島 健裕, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学 分野	【鏡視下手術に役立つ骨盤外科解剖-他診 療科とともに考える究極の解剖学-】 Denonvilliers' fascia 泌尿器科の立場から	泌尿器外科

37	村岡 邦康, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学分 野	【前立腺癌-基礎・臨床研究の最新知見-】 最新の基礎研究 骨盤内臨床解剖の最新 知見	日本臨床
38	武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学分 野	【泌尿器科・婦人科・整形外科・大腸外科か らみた直腸癌手術に必要な究極の骨盤解 剖学】泌尿器科からみた骨盤解剖 直腸・ 前立腺間の解剖を中心に	手術
39	武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学分 野	【JUA/JSEプロクター認定制度】プロクタリ ングのキーポイント	Japanese Journal of Endourology
40	武中 篤, 眞砂 俊彦, 森實 修 一, 本田 正史, 瀬島 健裕	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学分 野	【腎部分切除術technical update】ロボット 支援腎部分切除術 経後腹膜到達法	泌尿器外科
41	本田 正史, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学分 野	【解剖学的に理解する!骨盤底筋群と骨盤 底筋訓練】前立腺がん術後の男性の尿失 禁を理解する	泌尿器ケア
42	眞砂 俊彦, 山口 徳也, 岩本 秀 人, 森實 修一, 本田 正史, 瀬島 健裕, 武中 篤	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座腎泌尿器学分 野	鳥取大学における3D画像解析システムを 用いたロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 の有用性について	西日本泌尿器科
43	稲垣 喜三	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座麻酔・集中治療 医学分野	【麻酔薬の薬物動態・薬力学と年齢】デク スメドミジンの薬物動態・薬力学と年齢	臨床麻酔
44	稲垣 喜三	鳥取大学 医学部器官制御 外科学講座麻酔・集中治療 医学分野	局所麻酔時におけるデクスメドミジン 塩酸 塩(プレセデックス)	循環制御
45	山本 宗平, 八島 一夫, 岩本 拓, 上田 直樹, 菓 裕貴, 森尾 慶 子, 田本 明弘,	鳥取大学医学部附属病院 機能病態内科学	【咽頭癌・食道癌の内視鏡診療:現状と今後 の展望】内視鏡的切除した他臓器癌合併 食道dysplasia・扁平上皮癌の特徴	消化管の臨床
46	八島 一夫, 磯本 一, 村脇 義和	鳥取大学 医学部機能病態 内科学	【生活習慣とがん】疾患別からみた生活習 慣とがん 食道がん	成人病と生活習慣 病
47	三和 健, 松居 真司, 春木 朋 広, 荒木 邦夫, 谷口 雄司, 中村 廣繁	鳥取大学 医学部胸部外科	人間ドックを契機に発見され閉塞性肺炎を きたした気管支内過誤腫の1例	日本臨床外科学会 雑誌
48	万木 洋平, 鈴木 喜雅, 中村 廣繁	鳥取大学 医学部胸部外科	12年間の経過観察後に切除され診断が確 定したオカルト甲状腺乳頭癌の孤立性肺 転移の1例	日本呼吸器外科学 会雑誌
49	岡山 淑子, 森川 久未, 山本 康 孝, 八木 俊路 朗, 中山 敏, 久 留 一郎	鳥取大学医学部附属病院 形成外科	患者まで届いている 再生医療 脂肪組織 由来幹細胞を用いた乳房再建術	再生医療

小計13

50	福岡 晃平, 中山敏, 陶山 淑子, 八木 俊路朗, 千酌 浩樹	鳥取大学医学部附属病院 形成外科	足潰瘍にセラチア菌感染を生じ、治療に難渋した1例	創傷
51	荻野 和秀	鳥取大学医学部附属病院 検査部	【わが国発の心不全における利尿薬研究の最前線】ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬とインスリン抵抗性	Fluid Management Renaissance
52	渡部 仁成, 倉井淳, 清水 英治	鳥取大学医学部附属病院 呼吸器内科・膠原病内科	【大気汚染と呼吸器疾患】黄砂と喘息	THE LUNG-perspectives
53	渡部 仁成	鳥取大学医学部附属病院 呼吸器膠原病内科	【花粉症の实地診療 第一線の内科医が日常診療で最善を尽くすために】PM2.5の影響	Medical Practice
54	谷口 文紀, 原田省	鳥取大学 医学部産科婦人科	【黄体ホルモンの基礎から臨床まで】子宮内膜症と黄体ホルモン	産科と婦人科
55	原田 省	鳥取大学 医学部産科婦人科学	【産婦人科処方実践マニュアル】(第3章)生殖内分泌分野 子宮内膜症	産科と婦人科
56	島田 宗昭, 出浦伊万里, 紀川 純三	鳥取大学 医学部産科婦人科学	【婦人科領域のRare Tumorの取り扱い】粘液性卵巣癌・腹膜偽粘液腫	産婦人科の実際
57	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	眼科における薬剤耐性菌の現状	眼科
58	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	眼感染症View Point Delayed corneal mucous plaque	Core-Network of Ocular Infection
59	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	真菌性角膜炎に関する多施設共同前向き観察研究について	Core-Network of Ocular Infection
60	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	眼感染症は社会の鏡	日本眼科学会雑誌
61	井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態学	【感染症ガイドラインのすべて】その他、主要学会 日本眼科学会 感染性角膜炎診療ガイドライン	化学療法の領域
62	井上 幸次, 大橋裕一, 鈴木 崇, 下村 嘉一, 福田昌彦, 外園 千恵, 秦野 寛, 江	鳥取大学 医学部視覚病態学	真菌性角膜炎に関する多施設共同前向き観察研究 患者背景・臨床所見・治療・予後の現況	日本眼科学会雑誌

63	永瀬 大輔, 武信 二三枝, 富長 岳 史, 小松 直樹, 宮崎 大, 井上 幸次	鳥取大学 医学部視覚病態 学	両眼角膜同時穿孔を契機に関節リウマチと 診断されたリウマチ関連角膜潰瘍の1例	眼科臨床紀要
64	山崎 厚志, 金田 周三, 上田 麻奈 美, 富長 岳史, 魚谷 竜, 武信 二三枝, 井上 幸 次	鳥取大学 医学部視覚病態 学	軽度近視眼にみられた乳頭周囲萎縮内pit を伴うintrachoroidal cavitationの1例	臨床眼科
65	井田 泰嗣, 春木 智子, 宮崎 大, 井上 幸次, 難波 栄二, 中川 奈保 子	鳥取大学医学部附属病院 視覚病態学分野	遺伝子診断で確定した若年発症の金柑型 膠様滴状角膜ジストロフィの1例	臨床眼科
66	森川 久未, 白吉 安昭, 久留 一郎	鳥取大学医学部附属病院 次世代高度医療推進セン ター再生医療部門	これだけは知っておきたい! 生物学的ペー スメーカーの展望	心電図
67	谷口 雄司, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院 手術部	【手術室の質を最新ITで格段に高める】手 術室の環境改善をITが支える 手術室への 最新映像システム導入とその有用性	新医療
68	神崎 晋	鳥取大学 医学部周産期・ 小児医学	【小児科医のための「小児救急」UP DATE】 病態別の診断と治療 低血糖・高血糖のよ うだ	小児科
69	神崎 晋, 藤本 正伸	鳥取大学 周産期・小児医 学	【画像診断-はじめに何をどう読むか?】全 身 低身長	小児内科
70	米田 尚弘, 上山 潤一, 佐野 仁 志, 奥野 啓介, 神崎 晋	鳥取大学 医学部周産期・ 小児医学	青年期の慢性免疫性血小板減少症に対す るTPO受容体作動薬(ロミプロスチム)の使 用経験	小児科臨床
71	西村 玲, 岡田 晋一, 神崎 晋	鳥取大学 医学部周産期・ 小児医学分野	【水電解質代謝異常と遺伝疾患】尿崩症	Fluid Management Renaissance
72	原田 崇, 荒田 和也, 経遠 孝 子, 板持 広明, 原田 省	鳥取大学 医学部女性診療 科	胎児期の頭蓋内出血が原因と考えられた 裂脳症および孔脳症の2例	現代産婦人科
73	原田 崇, 谷口 文紀, 原田 省	鳥取大学医学部附属病院 女性診療科	【婦人科疾患の妊娠・産褥期マネジメント】 妊婦の子宮内膜症	臨床婦人科産科
74	平川 絵莉子, 原 田 崇, 荒田 和 也, 経遠 孝子, 板持 広明, 原田 省	鳥取大学 医学部女性診療 科	予後の異なる胎児骨系統疾患の2例	現代産婦人科
75	松下 博亮	鳥取大学医学部附属病院 小児科	【プリセプティ・ネオ子&プリセプター・ホテル と学ぶ!はじめてのME機器☆まずはこれだ けモニター編】パルスオキシメーター	Neonatal Care

76	高野 周一, 吉本美和, 高屋 誠吾, 大谷 眞二, 池口 正英, 清水 法男	鳥取大学医学部附属病院 小児外科	【エンジョイ!症例報告:まれな病態・疾患 (II)】1歳で判明し著明な縦隔偏位を伴った giant pulmonary bulla	小児外科
77	渡邊 浄司, 池口 正英, 清崎 浩一	鳥取大学医学部附属病院 消化器外科	自治医科大学卒業外科医のキャリア形成と地域外科医療の現状	自治医科大学紀要
78	尾崎 知博, 池口 正英	鳥取大学 消化器外科	食道・胃疾患 胃・十二指腸潰瘍、H.pylori	消化器外科学レビュー
79	松本 和也, 原田 賢一, 斧山 巧, 川田 壮一郎, 村脇 義和, 田中 久雄, 田中 究, 三浦 将彦, 神戸 貴雅, 武田 洋平	鳥取大学医学部附属病院 消化器内科	山陰地方における膵腫瘍診療の実態調査	鳥取医学雑誌
80	高田 知朗, 宗村 千潮	鳥取大学 医学部腎臓内科	【病態生理と症例から学ぶ輸液ガイド】(第2章)身につけておきたい水・電解質輸液の基本手技 水・電解質の欠乏量の推定法と輸液による是正法 難しい計算を簡単に	Medical Practice
81	山下 優嗣, 佐藤 彰博, 大井 宏之, 安倍 幸雄, 勝見 泰和, 中村 俊康, 織田 崇, 長谷川 健二郎	鳥取大学医学部附属病院 整形外科	握力の測定方法と測定機器の選択について	日本手外科学会雑誌
82	石田 孝次, 榎田 誠, 永島 英樹	鳥取大学 整形外科	腰椎変性疾患の手術成績が合併するOA 膝に及ぼす影響	中国・四国整形外科学会雑誌
83	柳樂 慶太, 石田 孝次	鳥取大学医学部附属病院 整形外科	PCL付着部裂離骨折に対して仰臥位Burks approachで手術を行った2例	JOSKAS
84	林 育太, 榎田 誠, 山下 尚寛	鳥取大学 医学部整形外科	腱板断裂修復術前後における棘上筋羽状角の変化	肩関節
85	佐藤 誠也, 板持 広明, 紀川 純三	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【子宮内膜癌治療の最前線】子宮内膜癌に対する手術療法 子宮内膜癌における子宮摘出術式の選択	産婦人科の実際
86	谷口 文紀	鳥取大学 医学部生殖機能医学	【女性ヘルスケア集中講義!-次世代の女性医学の可能性を求めて-】子宮内膜症診療へのアプローチ 卵巣チョコレート嚢胞の癌化とその診断・管理・予防	産婦人科の実際
87	谷口 文紀, 原田 省	鳥取大学 医学部生殖機能医学分野女性診療科	【病気とくすり2016 基礎と実践Expert's Guide】循環器系・泌尿器系・生殖器系の病気とくすり 泌尿器系・生殖器系疾患 子宮筋腫、子宮内膜症	薬局
88	谷口 文紀, 原田 省	鳥取大学 医学部生殖機能医学分野女性診療科	【病気とくすり2016 基礎と実践Expert's Guide】循環器系・泌尿器系・生殖器系の病気とくすり 泌尿器系・生殖器系疾患 異常妊娠、異常分娩、不妊症	薬局

89	山田 祐子, 横山 浩己, 北本 晃一, 河場 康郎, 岡田 晋一, 神崎 晋	鳥取大学 医学部総合内科 医学講座周産期・小児医学	当科で経験した胎児期腎尿路奇形の予後 10年間のまとめ	鳥取医学雑誌
90	森田 理香, 久家 圭太, 篠原 祐樹, 安井 建一, 藤井 進也, 小川 敏英	鳥取大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター	【脳神経・頭頸部の診断と治療update】再 発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーの1 例	臨床放射線
91	雄山 一樹, 神納 敏夫, 大内 泰文, 矢田 晋作, 足立 憲, 河合 剛, 遠藤 雅之, 小川 敏英	鳥取大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター	回収困難なIVCフィルターに対してTIPS用 メタルカニューラを用いて回収に成功した1 例	臨床放射線
92	渡部 仁成	鳥取大学医学部附属病院 第三内科診療科群	アレルギー相談室Q&A 呼吸器内科 咳 喘息の見分け方について教えてください	アレルギーの臨床
93	吉田 雄一	鳥取大学	新・皮膚科セミナリウム 母斑症・遺伝性疾 患 神経線維腫症1型 診断・治療の現状 と最近の知見	日本皮膚科学会雑 誌
94	八島 一夫, 飛田 義信, 謝花 典子, 河口 剛一 郎, 磯本 一	鳥取大学 医学部統合内科 医学機能病態内科学分野	Helicobacter pylori感染症時代の除菌診療 その課題とは何か(第31回) 地域における Helicobacter pylori診療の実際と課題 鳥 取県伯耆町の取り組み	Helicobacter Research
95	杉原 蒼明, 的野 智光, 岡本 欣也, 孝田 雅彦, 村脇 義和, 徳永 志保	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座機能病態内科学	腹部超音波検査および腫瘍マーカーによ る直接的肝がん検診の横断研究	鳥取医学雑誌
96	磯本 一, 荻原 久美, 妹尾 健 正, 大仁田 賢, 山口 直之, 中尾 一彦, 七島 篤志	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座機能病態内科学 分野	胃癌に対する5-アミノレブリン酸を用いた レーザー光線力学的内視鏡診断	日本レーザー医学 会誌
97	磯本 一, 菓 裕 貴, 荻原 久美	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座機能病態内科学 分野	胃癌におけるレーザー光を用いた光線力 学的内視鏡診断(PDD:Photodynamic diagnosis)	米子医学雑誌
98	衣笠 良治, 山本 一博	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座病態情報内科学 分野	【心不全慢性ル患者の人生に寄り添い ながら診る】 外来管理 慢性と急性の連鎖 を断ち切る 左室収縮能が維持された心不 全(HFpEF)への薬物治療 HFpEFに対する 新しい治療薬 その治療のターゲット	Medicina
99	衣笠 良治, 山本 一博	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座病態情報内科学 分野	拡張不全の病態と治療	循環器内科
100	杉原 志伸, 山本 一博, 久留 一郎	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座病態情報内科学 分野(第一内科)	【高尿酸血症ガイドラインの今後の動向】 無症候性高尿酸血症の治療 心疾患の合 併について	高尿酸血症と痛風
101	高田 美樹, 清水 英治	鳥取大学 医学部統合内科 医学講座分子制御内科学 分野	強皮症患者における肺移植後の生存率	リウマチ科

102	中村 理沙	鳥取大学医学部附属病院 内分泌代謝内科	【糖尿病治療薬～薬剤選択とその根拠～】 GLP-1アナログ	月刊レジデント
103	井上 郁, 横山 勝利, 正井 三枝 子, 兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座精神行動医学分 野	辺縁系脳炎の精神症状、せん妄に blonanserinが奏功した症例	最新精神医学
104	兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座精神行動医学分 野	【残遺する症状はどこまで回復するか】統 合失調症に対する精神科リハビリテーショ ン	精神科治療学
105	兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座精神行動医学分 野	【生きのびるためのアディクション】衝動制 御障害の考え方と対応への取り組み	アディクションと家 族
106	兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座精神行動医学分 野	【統合失調症の認知機能障害の臨床的意 義】統合失調症の認知機能障害の神経生 物学的背景	精神医学
107	木下 智裕, 長田 泉 美, 大立 博昭, 山梨 豪彦, 杉江 拓也, 横 山 勝利, 山内 崇平, 兼子 幸一	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座精神行動医学分 野	100歳を超えて初発しparoxetineが奏効した うつ病の1症例	臨床精神薬理
108	黒崎 雅道	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座脳神経外科学分 野	臨床に役立つ間脳下垂体病変のMRI画像 診断	Progress in Medicine
109	古和 久典	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座脳神経内科学分 野	診療の秘訣 片頭痛診療における問診の 留意点	Modern Physician
110	古和 久典, 瀧川 洋史, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座脳神経内科学分 野	【ペインクリニシャンのための頭痛診療】頭 痛に関する一般的事項 一次性頭痛と遺 伝子診断	ペインクリニック
111	古和 久典, 瀧川 洋史, 中野 俊 也, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座脳神経内科学分 野	頭痛と遺伝子 片頭痛を中心に	日本頭痛学会誌
112	高橋 正太郎, 伊 藤 悟, 田頭 秀 悟, 安井 建一, 渡辺 保裕, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座脳神経内科学分 野	斜台骨髄炎と海綿静脈洞部腫瘍性病変を 呈しステロイドが奏功したLemierre症候群 の1例	臨床神経学
113	周藤 豊, 伊藤 悟, 野村 哲志, 渡辺 保裕, 北尾 慎一郎, 中安 弘 幸, 中島 健二	鳥取大学 医学部医学科脳 神経医科学講座脳神経内 科学分野	神経根脊髄症を呈し腹部リンパ節生検にて 診断しえた結核性脊髄神経根炎の1例	臨床神経学
114	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医 科学講座脳神経内科学分 野	【神経内科診療のギモン】神経内科専門 医制度について、説明してください	Modern Physician

115	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【認知症の新たな潮流】これからの展望 認知症疾患診療ガイドラインの改訂に向けて	クリニシアン
116	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【進歩した神経内科疾患の現地診療●一般実地医家の活用と実践のために】健康寿命に影響する主要神経疾患の最新現地診療のすべて 認知症	Medical Practice
117	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【専門医制度は、どう変わる?】日本神経学会専門医制度	精神科
118	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	神経変性疾患の診断 Parkinson病、Parkinson症候群	Rad Fan
119	中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【認知症】Alzheimer病以外の認知症 update MCI 軽度認知障害	最新医学
120	野村 哲志, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【Parkinson病の認知機能低下-最近の知見】Parkinson病のREM期睡眠行動異常症と認知機能低下	神経内科
121	和田 健二, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【パーキンソン病の治療-変貌する概念と治療戦略-】変貌するパーキンソン病治療 パーキンソン病における精神症状とその治療	カレントセラピー
122	野村 哲志, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経医学講座脳神経内科学分野	【神経疾患と睡眠】パーキンソン病と睡眠	ねむりとマネージメント
123	和田 健二, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経外科学講座脳神経外科学分野	【認知症の診断と治療update】アルツハイマー型認知症の診断と治療	医学と薬学
124	岡崎 哲也, 前垣 義弘	鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科	【Tumor syndromes】[第7章]その他の疾患 伊藤白斑	臨床画像
125	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【私の処方2015】神経・筋疾患の処方 小児の頭痛	小児科臨床
126	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【疾患からみる画像診断の進め方・読み方】 感染症 脳炎	小児科診療
127	斎藤 義朗	鳥取大学 医学部脳神経小児科	【てんかん】ピンポイント小児医療 小児で重要なてんかん症候群 若年欠神てんかん	小児内科

128	西村 洋子, 前垣 義弘	鳥取大学 医学部脳神経小 児科	【てんかん】ピンポイント小児医療 てんか んの診断 脳波検査の注意点と問題点	小児内科
129	古和 久典, 瀧川 洋史, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経内 科	【自信がもてる頭痛診療】頭痛診断の実 際 診察法と補助診断法は?	Medicina
130	野村 哲志, 中島 健二	鳥取大学 脳神経内科	【パーキンソン病診療update】睡眠障害	Pharma Medica
131	野村 哲志, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経内 科	【パーキンソン病の最新情報】パーキン ソン病の非運動症状 睡眠障害	日本医師会雑誌
132	古和 久典, 瀧川 洋史, 中島 健二	鳥取大学 医学部脳神経内 科学分野	【頭痛診療の新展開】頭痛の疫学	日本医師会雑誌
133	山元 修	鳥取大学 皮膚科	【小児を診る!皮膚科医の心得】(第I部)(2章) 小児皮膚アトラス 乳児臀部肉芽腫	皮膚科の臨床
134	久家 圭太, 藤井 進也, 三好 史 倫, 篠原 祐樹, 小川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	【脳血管障害-病態に基づいた画像診断-】 静脈洞血栓症と硬膜動静脈瘻	画像診断
135	三好 史倫, 篠原 祐樹, 小川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	【ビギナーのための頭画像診断-Q&Aア プローチ-】疾患別 脳血管障害の2次変 性を教えてください	画像診断
136	石橋 愛, 崎本 翔太, 奥田 恭 平, 藤井 進, 森 山 茂, 田邊 芳 雄, 小川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	ドパミントランスポーターイメージングにおけ る2検出器型と3検出器型SPECT装置の比 較	Rad Fan
137	太田 靖利	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	【マルチモダリティによるCardiac Imaging 2015[臨床編] 非侵襲的心臓画像診断の形 態情報から機能評価への展開】CTのストラ テジー&アウトカム 臨床施設からの報告 心臓CTの臨床的有用性と技術進歩 デュ	INNERVISION
138	藤井 進也, 福永 健, 椋田 奈保 子, 井上 千恵, 金田 祥, 田邊 芳雄, 小川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	【救急画像診断のすべて】内因性疾患 泌 尿生殖器 生殖器 子宮筋腫茎捻転、子 宮筋腫赤色変性	臨床放射線
139	福永 健, 藤井 進也, 井上 千恵, 椋田 奈 保子, 柿手 卓, 大内 泰文, 田邊 芳雄, 小 川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	子宮腺筋症から発生したと考えられた子宮 体部類内膜腺癌の2例	臨床放射線
140	福永 健, 藤井 進也, 椋田 奈保子, 井上 千恵, 柿手 卓, 大内 泰文, 田邊 芳雄, 小 川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	【骨盤部感染症の画像診断-迅速な診断と 治療のストラテジー-】婦人科領域の一般 的な骨盤内炎症性疾患の画像診断	画像診断

小計13

141	棕田 奈保子, 藤井 進也, 福永 健, 井上 千恵, 内田 伸恵, 小川 敏英	鳥取大学 医学部病態解析 医学講座画像診断治療学 分野	【子宮頸癌治療の新たな選択肢】子宮頸癌に対する画像診断の進歩	産婦人科の実際
142	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科	【肺高血圧症・肺血栓塞栓症 見逃すことなく最適の治療へ】肺高血圧症・肺血栓塞栓症 各論 左心不全に合併した肺高血圧症	診断と治療
143	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科	心不全と心拍数	循環器内科
144	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科	【大災害時の対応を振り返る:日本超音波医学会としての取り組み】東日本大震災時における日本超音波医学会事務局の対応	超音波医学
145	衣笠 良治, 山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科学	【心不全-栄養管理の実践ポイント】心臓悪液質	臨床栄養
146	山本 一博, 宮木 真里	鳥取大学 医学部病態情報 内科学	【命の現場に立つ!救急のための心・血管エコー】急性心不全症候群での救急エコー心エコーによる原因と血行動態の評価	心エコー
147	杉原 志伸, 山本 一博	鳥取大学医学部附属病院 病態情報内科学	Debate 急性心原性肺水腫に対する利尿薬投与は必要か? 不要とする立場から	Fluid Management Renaissance
148	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科学分野	【US Today 2016 ジャンル別超音波最新動向 先進技術の活用法も含めて】ジャンル別超音波最新動向 循環器領域の最新動向	INNERVISION
149	山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科学分野	【心臓弁膜症:治療の最前線、未来への展望】心臓弁膜症治療の最前線 外科医vs.内科医それぞれの立場から 僧帽弁疾患編 内科的治療	日本内科学会雑誌
150	衣笠 良治, 山本 一博	鳥取大学 医学部病態情報 内科学分野(第一内科)	【心不全-その常識は正しいか?-】カルペリチドは、急性心不全治療のクラスと考えるとよいか?	救急・集中治療
151	森本 昌樹, 齊藤 博昭, 村上 裕樹, 宮谷 幸造, 高屋 誠吾, 黒田 博彦, 松永 知之, 福本 陽二, 尾崎 知博, 池口 正英	鳥取大学 医学部病態制御 外科	胃術後合併症患者における経鼻経腸栄養の有用性についての検討	米子医学雑誌
152	村上 裕樹, 尾崎 知博, 齊藤 博昭, 若月 俊郎, 池口 正英	鳥取大学 医学部病態制御 外科	メシル酸イマチニブによる術前化学療法にて完全奏効を得た胃GISTの1例	臨床外科
153	花木 武彦, 荒井 陽介, 齊藤 博昭, 渡邊 浄司, 徳安 成郎, 坂本 照尚, 本城 総一郎, 池口 正英	鳥取大学 医学部病態制御 外科学	胃潰瘍の心嚢腔穿破による心タンポナーデの1例	日本消化器外科学会雑誌

154	塩見 達志	鳥取大学 医学部医学科病理学講座器官病理学分野	【病理診断クイックリファレンス】(第18章)皮膚 基底細胞癌	病理と臨床
155	塩見 達志	鳥取大学 医学部医学科病理学講座器官病理学分野	【病理診断クイックリファレンス】(第18章)皮膚 菌状息肉腫	病理と臨床
156	塩見 達志	鳥取大学 医学部医学科病理学講座器官病理学分野	【病理診断クイックリファレンス】(第18章)皮膚 皮膚混合腫瘍	病理と臨床
157	梅北 善久	鳥取大学 医学部病理学講座器官病理学分野	緑茶とがん	病理と臨床
158	加藤 信介, 小浜博司, 加藤 雅子	鳥取大学 医学部病理学講座脳病態医科学分野	【尿酸の功罪】神経系 変性疾患(MS、認知機能)	高尿酸血症と痛風
159	内田 伸恵	鳥取大学医学部附属病院放射線治療科	放射線治療 最近の進歩と課題	鳥取医学雑誌
160	稲垣 喜三	鳥取大学 医学部麻酔・集中治療医学	新薬紹介(No.60) α 2作動性鎮静薬デクスメトミジン塩酸塩	日本医師会雑誌
161	大槻 明広, 遠藤涼, 青木 亜紀, 船越 多恵, 稲垣 喜三	鳥取大学 医学部麻酔・集中治療医学分野	【術後疼痛管理:急性期から亜急性期の術後鎮痛を考える】術後亜急性痛発症防止の臨床的対策	ペインクリニック
162	森山 直樹, 仲宗根 正人, 舩木 一美, 南 ゆかり, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	赤血球輸血用カリウム吸着フィルターで予期せぬ低血圧を招来した1症例	日本集中治療医学会雑誌
163	北川 良憲, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	【麻酔科医の頭の中をとことん解説! オペナースのための麻酔はや調べ便利帳】(第2章)入室～モニタリング開始 深部静脈血栓症の予防 リスクに応じた予防措置は?	オペナーシング
164	北川 良憲, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	【麻酔科医の頭の中をとことん解説! オペナースのための麻酔はや調べ便利帳】(第2章)入室～モニタリング開始 血圧計 正確な測定値を得るためには何に注意し、正常値と異常値はどのように判断する?	オペナーシング
165	北川 良憲, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	【麻酔科医の頭の中をとことん解説! オペナースのための麻酔はや調べ便利帳】(第2章)入室～モニタリング開始 心電図 心電図の誘導の使い分け、正常波形と異常波形をどのように見分ける?	オペナーシング
166	北川 良憲, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院麻酔科	【麻酔科医の頭の中をとことん解説! オペナースのための麻酔はや調べ便利帳】(第2章)入室～モニタリング開始 パルスオキシメータ 数値の正常値と異常値をどのように判断し、波形の正常と異常をどのように見	オペナーシング

167	北川 良憲, 稲垣 喜三	鳥取大学医学部附属病院 麻酔科	【麻酔科医の頭の中をとことん解説! オペ ナーズのための麻酔はや調べ便利帳】(第2 章)入室～モニタリング開始 カプノメータ 正常と異常をどのように判断し、異常波形 や変化から何を読み取る?	オペナーシング
-----	-----------------	--------------------	---	---------

計167

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
手順書の主な内容 1. 手順書制定の目的 2. 委員会の設置 3. 委員会の組織 4. 委員会の運営 5. 審査資料 6. 審査手順 7. 迅速審査 8. 重篤な有害事象 9. 報告 10. 記録の保管・公表 11. 保険適応外診療に関する倫理審査	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年21回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
規定の主な内容 (目的) 鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反(以下「利益相反」という。)が深刻な事態へと発展することを未然に防止するため、臨床研究に係る利益相反の適切な管理(以下「利益相反マネジメント」という。)に関し必要な事項を定め、もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。 (利益相反マネジメントの対象及び基準) 利益相反マネジメントの対象者は、次に掲げる者 一 臨床研究実施者等 二 臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の扶養親族 三 その他審査委員会が必要と判断した者 開示対象とする事項 一 経済的利益 二 経営関与 利益相反マネジメントは、臨床研究を実施するに当たり、被験者及び社会に対し、教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。	

(臨床研究実施者等の責務)

利益相反の発生が懸念される場合は、この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか、透明性、公正性の確保に自ら努める。

(臨床研究利益相反審査委員会の業務等)

- 一 利益相反の防止に関すること。
- 二 利益相反に係る調査及び審査に関すること。
- 三 利益相反方針に関すること。
- 四 その他利益相反マネジメントに関すること。

(委員会組織)

- 一 医学部倫理審査委員会委員長
- 二 医学部附属病院治験審査委員会委員長
- 三 医学部長が指名する教員 若干人
- 四 その他審査委員会が必要と認めた者(外部委員含む。) 若干人

ただし、委員の氏名は、公表しない。

その他、(利益相反マネジメントの手続き)、(緊急審査)、(審査委員会の公正性の確保)等を規定している。

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況

年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況

年5回

- ・研修の主な内容
 - ・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の概要
 - ・鳥取大学の臨床研究実施手順
 - ・他大学の臨床研究への取り組み
 - ・臨床研究の計画・運用

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

・羊水過少例、前期破水例に対する羊水注入療法・臍帯穿刺による胎児検査、胎児治療・子宮内膜症合併不妊に対する腹腔鏡下手術・体腔鏡下腎摘術・ボツリヌス毒素の膀胱内注入・非小細胞肺癌に対するWeekly Paclitaxel の有用性に関する検討・複雑系理論を応用した睡眠時無呼吸障害患者の診断・遺伝子産物抗体測定による肺癌診断・ras rho p53 遺伝子PCRによる癌性胸膜炎診断・音声再建・睡眠時無呼吸治療・急速減感作療法・再建外科を含む頭頸部腫瘍の治療・小児の難治性疾患に対する診断と治療に関する手技を研修・IVH・上部消化管内視鏡・上部消化管造影・頸髄症の病態と手術適応・変形性関節症の病態と人工関節手術の適応・膝内障の病態と関節鏡視下手術・脊髄誘発電位検査・小児難治性疾患に対する診断・上室ならびに心室性頻拍症に対する高周波カテーテル焼却術・脳血管内手術・エキシマレーザーによる治療的レーザー角膜切除術 (PTK) ・マイクロケラトームを用いた角膜移植術・real-time PCRを用いたヘルペス性眼疾患診断・肺動脈カテーテル挿入術・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術・近赤外線スペクトロスコピー (NIRS) を用いたうつ状態の鑑別・統合失調症に対する認知リハビリテーション・心臓再同期療法・心臓リハビリテーション・臨床心臓電気生理学的検査・難治性円形脱毛症に対するステロイドパルス療法・天疱瘡に対するIVI G療法・ステンドグラフトワークショップ・がんのリハビリテーション・熱傷手術・ロボット支援膀胱全摘術

2 研修の実績

研修医の人数	62人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 一博	循環器内科/ 内分泌代謝内科	主任診療科長	30年	
磯本 一	消化器内科/ 腎臓内科	主任診療科長	26年	
清水 英治	呼吸器内科/ 膠原病内科	主任診療科長	38年	
兼子 幸一	精神科	診療科長	31年	
神崎 晋	小児科	診療科長	37年	
齊藤 博昭	消化器外科/ 小児外科	診療科長	23年	
西村 元延	心臓血管外科	診療科長	33年	
中村 廣繁	胸部外科/ 乳腺内分泌外科	主任診療科長	32年	
永島 英樹	整形外科/ リウマチ科	診療科長	28年	

山 元 修	皮膚科	診療科長	34年
武 中 篤	泌尿器科	診療科長	30年
井 上 幸 次	眼科	診療科長	35年
竹 内 裕 美	耳鼻咽喉科/ 頭頸部外科	主任診療科長	35年
小 川 敏 英	放射線科/ 放射線治療科	主任診療科長	37年
原 田 省	産婦人科	主任診療科長	33年
稲 垣 喜 三	麻酔科	主任診療科長	35年
小 谷 勇	歯科口腔外科	診療科長	22年
長谷川 純 一	薬物療法内科	診療科長	37年
八 木 俊路朗	形成外科	診療科長	15年
本 間 正 人	救急科	診療科長	28年
日 野 理 彦	血液内科	診療科長	44年
古 和 久 典	神経内科	診療科長	27年
黒 崎 雅 道	脳神経外科	診療科長	26年
前 垣 義 弘	脳神経小児科	診療科長	28年
難 波 栄 二	遺伝子診療科	診療科長	35年
梅 北 善 久	病理診断科/ 神経病理診断科	主任診療科長	29年
千 酌 浩 樹	感染症内科	診療科長	28年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
「ホスピタリティ研修」（初任者向け）	
・研修の主な内容	ホスピタリティを体験学習から学び、資質の向上を図る
・研修の期間・実施回数	平成27年4月7日～4月8日・2日間
・研修の参加人数	96名
「児童虐待に関する研修」（全職員）	
・研修の主な内容	マルトリートメント（虐待）とは何か、また、その社会制度や事例などを学び、医療従事者としての役割や対処方法を理解する。
・研修の期間・実施回数	平成27年12月21日・1回
・研修の参加人数	303名
「接遇研修」（全職員）	
・研修の主な内容	本院に実際に寄せられた事例を交えて、「接遇とは」「クレームはなぜ起きるのか」「クレーム対応」等について学び接遇対応能力の向上を図る
・研修の期間・実施回数	平成28年2月17日・1回
・研修の参加人数	261名
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）	
「労務管理に関する研修会」（管理的立場にある者向け）	
・研修の主な内容	就業規則、労使協定を踏まえて、長時間労働による健康障害の防止（安全配慮義務、勤務時間管理、ワークライフバランス等）について意識啓発を行う。
・研修の期間・実施回数	平成27年7月17日・1回
・研修の参加人数	23名
「院外研修の成果報告会」（事務職員向け）	
・研修の主な内容	事務職員を対象とした院外研修（階層別の研修、病院事務部門に特化した研修）を受講した者から、その成果について報告を受けることにより、受講者本人のプレゼンテーション能力を高めるとともに事務職員全体の資質の向上を図る
・研修の期間・実施回数	平成27年11月18日、平成28年3月10日・2回
・研修の参加人数	59名
「事務系新規採用職員情報セキュリティ研修」	
・研修の主な内容	事例から情報の取り扱い、情報セキュリティを考える。
・研修の期間・実施回数	平成27年5月～11月・2回
・研修の参加人数	33名

「情報セキュリティインシデントの脅威と対策」

- ・研修の主な内容 個人情報の定義の確認、不正アクセスによる個人情報の漏えいの注意喚起及び内部犯行による情報漏えいの事例紹介。
- ・研修の期間・実施回数 平成27年7月28日・1回
- ・研修の参加人数 286名

「個人情報保護研修会」

- ・研修の主な内容 コンプライアンスに対する考え方の再確認及び個人情報保護について事例から経路と構造を考える。
- ・研修の期間・実施回数 平成27年12月10日・1回
- ・研修の参加人数 15名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 清水 英治
管理担当者氏名	総務課長 鬼村 博幸、医療サービス課長 鬼村 博幸

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管） 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管	
		各科診療日誌	各診療科		
		処方せん	医療情報部		
		手術記録	医療情報部		
		看護記録	医療情報部		
		検査所見記録	医療情報部		
		エックス線写真	医療情報部		
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
		高度の医療の提供の実績	医療サービス課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課 医学図書館		
		高度の医療の研修の実績	総務課		
		閲覧実績	総務課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課		
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医療サービス課 薬剤部
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全管理部
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療サービス課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 MEセンター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療サービス課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
		監査委員会の設置状況	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
職員研修の実施状況	医療安全管理部		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 清水英治	
閲覧担当者氏名	総務課長 鬼村博幸、医療サービス課長 西村繁紀	
閲覧の求めに応じる場所	相談室	
閲覧の手続の概要		
① 情報公開は、請求者が「開示請求書」を情報公開窓口の総務企画部総務課広報企画係に提出する。		
② 大学は開示・不開示の決定を行い、「決定通知書」により請求者へ通知する。		
③ 請求者は、開示の実施方法・希望日を「開示の実施方法の申出書」により窓口へ申し出、開示実施手数料を支払う。		
④ 開示（閲覧）を実施する。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 安全管理に関する基本的考え方</p> <p>(2) 安全管理のための組織に関する基本的事項</p> <p>(3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針</p> <p>(4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>(6) 本院における医療従事者と患者及び家族等との間の情報の共有に関する基本方針</p> <p>(7) 患者及び家族等からの相談への対応に関する基本方針</p> <p>(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。</p> <p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること・ 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること・ 医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年57回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 第1回職員全体研修会 「チームステップス」(1回) ・ 第2回職員全体研修会 「マルチリートメントに対する院内の取り組みについて」(1回) ・ DVD視聴研修会(8回) ・ 部署別DVD研修会(3回) ・ Eラーニング研修会(3回) ・ 病院情報システム操作研修会(18回) ・ 高齢者疑似体験研修会(3回) ・ 移乗・歩行介助研修会(3回) ・ 医療安全取り組み報告研修会(11回) ・ 新採用・中途採用オリエンテーション(6回) 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>(報告の分析)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理責任者が、インシデント報告書を基に①内容 ②原因と要因 ③改善策 ④患者影響レベル ⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。 2. 1を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。 <p>(検討方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理責任者を中心に、院内リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。 2. GRMは毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長会議・リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議で報告し検討している。 3. 事例によっては、クオリティ審査専門委員会・拡大クオリティ審査専門委員会等で審査を行う。 	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 感染管理組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する「病院感染対策のためのマニュアル」の閲覧に関する基本方針7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針8. 職業感染防止のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染予防の対策に関すること2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること3. 感染予防に係る情報の収集に関すること4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 職員全体研修会（8回）<ul style="list-style-type: none">リスクマネジメント担当者の感染管理に関する役割当院における中東呼吸器症候群（MERS）への対応について個人防護具着脱実技 OJT多職種連携による感染制御の成果多剤耐性菌対策当院における CRE アウトブレイクの現状と対策看護部感染対策副師長会活動報告看護部感染対策リンクナース会活動報告・ 第二種感染症指定医療機関としての対応シミュレーション（2回）・ 感染症病床入床後の対応（2回）・ 新採用者オリエンテーション（20回）	

- ・看護部新採用者出前研修（12回）
- ・e-ラーニング研修会（1回）
- ・感染対策コース研修（7回）
- ・研修医セミナー（8回）
- ・研修医研修（1回）
- ・看護助手研修（1回）
- ・静脈注射院内認定研修（2回）
- ・N95 微粒子用マスクフィットテスト研修会（7回）
- ・1年目看護師研修（2回）

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備
 - ・ その他の改善のための方策の主な内容：
- （ 有 無 ）

- ・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA感染症治療薬および広域抗菌薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討
- ・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導
- ・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応
- ・ 感染制御部メンバーによる定期ミーティング

(様式第6)

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年49回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療安全取り組み報告研修会： 「内服薬関連インシデント減少に向けた取り組みについて～予約カート導入とその評価～」(1回)・ インスリン療法研修会(4回)・ 静脈注射院内認定看護師育成研修(1回)・ DVD視聴研修会「確認行動」(5回)・ 薬剤師による病棟等への出張研修(23回)・ 新採用者研修病院情報システム・リスクマネジメント「処方オーダー時の留意点について」(10回)・ 鳥取大学医学部付属病院新採用職員オリエンテーション「薬剤部について」(1回)・ 研修医プレローテーション(2回)・ 新人看護師研修「毒薬・劇薬・向精神薬・麻薬の取り扱いについて」(1回)・ 研修医医療安全研修「疑義照会説明会」(1回)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医薬品の採用・購入に関する事項・ 医薬品の管理に関する事項(麻薬等の管理方法等)・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項・ 他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(情報収集の方法 ※未承認等の医薬品の情報その他の情報の収集)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報集・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握・ 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供(口頭、インターネット、書面等) <p>(情報の周知方法)</p> <p>緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る</p> <ul style="list-style-type: none">・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会・ 書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供・ 医師等の個人に直接情報提供・ 病棟担当薬剤師による医師薬剤師への説明会	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年43回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>対象：輸液ポンプ・シリンジポンプ、モニタ、除細動器、バックバルブマスク、人工呼吸器、保育器、透析濾過装置、血液浄化装置、人工心肺装置、PCPS、IABP、補助人工心臓装置、高気圧酸素治療装置、その他</p> <p>内容：準備方法等、使用方法や主な観察点、注意点、安全情報で特に重要なもの、院内のインシデントレポートを参考にした注意点について実施</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ MEセンターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用后点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。・ 現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、MEセンターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。・ 保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し、業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けたMEが実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。・ 精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(情報収集の方法)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求めている。 <p>(情報の周知方法)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内に周知する。・ 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い周知を図っている。	

(様式第6)

規則第9条の23第1項第1号から第15号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長（医療安全）を配置している。</p> <p>（職務内容）</p> <p>医療安全管理部、医療事故防止等対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、インフォームド・コンセント説明等責任者の統括をしている</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医療安全管理部や医療安全に係る委員会等と連携の下、次の業務を行う。</p> <p>① 医薬品の安全のための業務に関する手順書の作成並びに改定</p> <p>② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施</p> <p>③ 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施</p> <p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認医薬品の使用状況は医薬品情報管理室にて一元管理を行い、定期的に（月一回程度）その結果を報告させ、必要な介入の指示を行い、実施させる。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/>有 <input type="radio"/>無</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>・説明者および同席者 原則としてすべて担当医が説明する。医療チームとして指導医の立ち会いのもとで担当医が説明する場合もある。説明に関するプロセスの質を保証するために看護師が立ち会うことが望ましい。患者本人のみならず、できるだけ家族が同席できるように配慮する。臨床心理士や精神科医、また他の医療従事者の立ち会いが必要な場合もある。</p> <p>・説明の内容 説明する内容としては：1) 病名と病気の現状、2) これに対する診療方法の内容と期待される改善程度、3) その治療の危険性(合併症の具体的内容と具体的頻度、対処法の有無及び有効性)、4) それ以外に選択肢として可能な治療方法とその利害得失(有効性と危険性)、5) 疾病についての将来の予測(無治療の場合を含む)等とする。患者に十分理解されるよう、平易な言葉遣い(できるだけ専門用語はさける)、文書・資料・図などを用いて説明し、理解されたかを確認する。時間をおいて繰り返し説明することも必要である。説明する内容は、通常の患者ではなく、当該患者が重視する情報を提供する。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>診療録管理委員会委員長を診療録等管理責任者と定めている。</p> <p>診療録管理委員会に設置している診療録監査専門部会において、毎月診療録等の監査を実施しており、監査結果を診療録管理委員会に報告し、記載内容等に不備がある場合は必要な指導を行っている。</p> <p>監査・指導結果について、診療録管理委員会から病院運営会議に報告を行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従(1)名、専任(1)名、兼任(9)名 うち医師：専従()名、専任(1)名、兼任(4)名 うち薬剤師：専従()名、専任()名、兼任(2)名 うち看護師：専従(1)名、専任()名、兼任(2)名 ※事務 兼任(1)名</p> <p>医療安全管理者として、専従看護師1名を配置している。医師について平成28年4月1日より専任1名配置し、平成30年3月までには専任を専従とする予定。薬剤師については平成29年4月1日専従1名配置予定である。</p>	

⑨ 監査委員会の設置状況

有 無

- ・ 監査委員会の開催状況：年 回
- ・ 活動の主な内容：

- ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・ 委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年534件 平成27年度
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年58件 平成27年10月～平成28年8月
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
医療安全管理部が、入院患者の死亡事例を確認し、その中で異常死、問題のある症例、診療科から報告のあった死亡事例については、さらに詳しく検証を行っている。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ） 無
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ） 無
- ・技術的助言の実施状況
年1回、他の特定機能病院と連携し、立ち入り及び技術的援助を遂行する予定であるが、立入り、受入れの方法や内容については、他の特定機能病院と調整し進めていく。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
(設置状況等)
平成15年4月1日に、本院に医療相談室を設置し、現在、医療相談室長（医師）1名、医療サービス課の事務職員12名が相談員として、平日8：30から17：00（土日祝日除く）の間、患者等からの相談等に応じている。
(活動状況等)
医療相談室の相談員が、患者等からの安全管理を含めた医療に関する相談や苦情などに適切に対応している。
対応にあたっては、患者等の秘密の厳守及び患者が不利益を受けないよう適切な措置を講じながら適切かつ迅速に問題を解決するよう努めている。
また、必要に応じて、医療安全管理部、医師、看護師等と協力して対応にあたり、途中経過及び結果を病院長に報告している

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)

⑭ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

職員の医療の安全に関する意識、職員間の相互に連携して業務を行なうことについての認識、業務を安全に行なうための技能向上等を目的とした研修は、医療安全取り組み（全体）研修会、医療機器研修会等で実施している。

特定機能病院に関する事項について、8月に研修会を実施したが、監査委員会設置後からは特定機能病院の医療安全管理に関すること、高難度医療に関する事項を積極的に取り上げて研修を行う予定としている。9月には「術前中止薬」「麻酔事故例」を取り上げた研修を実施した。

現在は、研修後、アンケートにより理解度の測定を実施しているが、今後、より研修の効果を確かめる方法を検討することとしている。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

医療安全管理者を医療安全・医療の質トップマネジメント研修（平成28年7月16日）に、医薬品安全管理責任者は毎年「日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会」に参加させるなどの措置を講じている。

国立大学附属病院長会議等の動向を確認しつつ、病院長を含めた管理職員の参加を今後予定している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名 : 公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期 : 2015年1月5日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院の最新情報及び地域からのニーズ、また旬な情報を発信している。 ・ホームページ 随時更新 ・広報誌 医療情報誌「ささら」 2回発行 とりだい病院ニュース 3回発行 ・外来担当医の「ご紹介」 1回発行 ・新聞 特集 4回掲載 ・ケーブルテレビ 毎月放送 ・院内セミナー 健康ミニ講座 22回開催 ・院外セミナー 4回開催	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>本院では、低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている、</p> <p>また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、</p> <p>・褥瘡対策チーム、・緩和ケアチーム、・糖尿病医療支援チーム、・栄養サポートチーム、・感染対策チーム、・転倒・転落予防チーム、・生殖医療チーム、・呼吸サポートチーム</p> <p>など、複数診療科が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。</p>	

(様式第 8)

鳥大医療第 16 - 1 号
平成 28 年 9 月 8 日

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院
病院長 清水 英治

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

--

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品の安全使用のための業務に資する医薬品に関する情報の整理および周知については、既存の手順書により実施しているが、当該周知の状況の確認については、手順書を見直し、確認方法を定め徹底を図ることとしている。(9月改訂予定)

医薬品安全性情報や医薬品の使用情報は医薬品情報管理室で一元管理を行い、必要に応じてその結果を医薬品安全管理者へ報告することとしており、収集した情報や使用実績については緊急性や対象者に応じて直接、書面あるいはメール等で情報提供を行う。また、全体研修や出前研修を通じて職員に周知徹底を図っている。

適応外処方については、現在臨床介入研究倫理委員会がとりまとめており、その安全性を中心に医薬品安全管理責任者並びに薬事委員会で議論し、同倫理委員会に助言を行い、その助言を元に審議がなされている。

未承認薬については、当院では原則臨床研究として取り扱うこととしており臨床介入研究審査委員会で承認後、薬剤部でマスタを作成しオーダ可能(通常患者限定)としている。

禁忌等の処方に係る確認については、医薬品情報管理室で医薬品採用時にヒアリング等を通じて情報収集を行い、各種禁忌については可能な範囲でオーダ不可としており、医師から禁忌解除依頼の連絡があった際は薬剤師が処方の妥当性を確認後、処方可能としている。調剤時に処方内容に関し疑義が発生した場合は処方医に疑義照会を行う。また、調剤時に処方内容並びに処方薬等から推察される病名等より、適応外又は禁忌使用等が疑われた際、あるいは病棟担当薬剤師がカンファレンスや担当患者の投薬状況や病態、検査値等から適応外・禁忌使用を把握した場合は処方医に対して照会並びに必要な指導を行うとともに、医薬品情報管理室に報告。医薬品情報管理室担当者が情報を整理した後、医薬品安全管理責任者に報告し責任者の指示に従い必要な介入を行う仕組みを構築することとしている(9月手順書改訂予定)。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

--

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

--

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

平成16年7月に診療録管理委員会を設置し、副病院長を委員長としている。また、委員会に診療録監査専門部会を設置し、診療録の記載内容等について毎月検討を行っている。

診療録等の管理に関する責任者について、診療録管理委員会委員長をもって責任者とすることを医療安全管理部規程に定めることとしている。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

入院患者が死亡した場合はすべての全死亡例、死亡例以外でも通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものは、医療安全管理部への報告を行なうこととした。

死亡例報告は、電子カルテ上の死亡退院サマリーを基に項目を選択することにより電子的に報告できる仕組みを医療情報部で構築し運用及び周知に向けて準備中（平成28年9月にシステムを構築する予定）である。

死亡例以外のもので、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になった事象については、Clavien-Dindo 分類 GradeⅢ以上の事象が発生したときに医療安全管理部へ報告するとしており、それらの基準の事象が発生した場合、医療者は事実及び状況をインシデントレポートを活用し報告させる仕組みとなっている。

医療安全管理部は、報告の実施状況の確認及び確認結果を病院長に報告するとともに、報告の実施状況が不十分な場合は適切な報告のため職員へ研修及び指導を行う。

8月22日に、全職員を対象とした医療安全取り組み報告研修会で、運用開始の周知を行った。今後、幅広く、周知を行う予定である。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報を受け取るための内部通報窓口の設置について、規程の整備を進めている。（9月承認予定で手続き中）

窓口への通報は、病院ホームページ内部通報窓口（病院情報システムからのWeb入力）、投書箱または面会のいずれかによるものとし、通報は通報者から申出のない限り匿名で取扱い、個人を識別することができない方策を講じている。

また、通報者が不利益を受けないようにし、従業者へ幅広く周知を行う予定であり、8月22日に、全職員を対象とした医療安全取り組み報告研修会で、運用開始の周知を図り、投書箱は8月末に院内に設置した。今後、幅広く、周知を行う予定である。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

--

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成28年5月に医療安全担当副院長を中心とした検討ワーキングを立ち上げ、現在までに2度のワーキングを開催している。高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門、事務局および審査委員会について、年内の設置を目標として、部門の構成員、委員会の構成等を検討しているところであり、審査委員会の下に専門的な評価委員会を設け、対応していく計画案としている。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成28年5月に医療安全担当副院長を中心とした検討ワーキングを立ち上げ、現在までに2度のワーキングを開催している。高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門、事務局および審査委員会について、年内の設置を目標としており、事務局を中心に規定、手順書等を作成することとしている。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成28年5月に医療安全担当副院長を中心とした検討ワーキングを立ち上げ、現在までに2度のワーキングを開催している。未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門、事務局および審査委員会について、年内の設置を目標として、部門の構成員、委員会の構成等を検討しているところである。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成28年5月に医療安全担当副院長を中心とした検討ワーキングを立ち上げ、現在までに2度のワーキングを開催している。未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門、事務局および審査委員会について、年内の設置を目標としており、事務局を中心に規定、手順書等を作成することとしている。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

現在、規則等を作成中であり、今後、学長と協議の上、本院と利害関係がなく、医療に係る安全管理に関する有識者を構成員にした監査委員会を平成29年3月までに設置予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

年1回、他の特定機能病院と連携し、立ち入り及び技術的援助を遂行する予定であるが、立入り、受入れの方法や内容については、他の特定機能病院と調整し進めていく。

15. 職員研修を実施するための予定措置

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

医療安全管理者を医療安全・医療の質トップマネジメント研修（平成28年7月16日）に、医薬品安全管理責任者は毎年「日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会」に参加させるなどの措置を講じている。

国立大学附属病院長会議等の動向を確認しつつ、病院長を含めた管理職員の参加を今後予定している。

17. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（1）名、専任（1）名、兼任（ ）名
うち医師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（ ）名
うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医療安全管理者として、専従看護師1名を配置している。医師について平成28年4月1日より専任1名配置し、平成30年3月までには専任を専従とする予定。薬剤師については平成29年4月1日専従1名配置予定である。